

保証書（持込修理）

本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	SCR35TD	S/No.	
お買い上げ年月日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。		
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年		
お客様	お名前 〒 ご住所 TEL ()	様	
販売店	店名・住所 上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。		
故障内容記入欄			

＜無料修理規定＞

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居で贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居で贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036



1ボディタイプ
GPSアンテナ内蔵レーダー探知機

SCR35TD

取扱説明書

12V車専用

ダウンロード対応



目次

必ずお読みください

安全上のご注意	2
使用上のご注意	4
本書をお読みいただくにあたって	6
本機について	7
同梱品の確認	9
各部の名称と働き	10
別売品のご案内	11

使用の準備

取り付け(本機取り付け)	13
取り付け(電源コードの配線)	17
microSDカードの出し入れ	21

取締りのミニ知識

取締りのミニ知識	22
----------	----

基本的な使い方

電源をONにする～出発	24
画面表示について	
2画面警告モードと待受画面モード	28
待受画面	30
各待受画面の説明	31
アイコン表示について	34
GPSターゲットアイコン一覧	35
取締りレーダー波を受信すると	36

GPSターゲットに接近すると	38
警報ボイスについて	39
各種無線電波を受信すると	43
マイエリアを登録する	44
マイキャンセルエリアを登録する	45

カスタマイズ

設定	46
かんたんモード	47
モード設定	48
警報設定	52
画面・LED設定	54
音声設定	55
システム設定	56
OBD設定	57

ity. MAP サービス

ログ機能・今すぐ地図表示サービス	
オービス・取締り系&コンテンツデータ更新	58

その他

ダッシュボード取り付け用ブラケットについて	60
故障かな?と思ったら	61
仕様	64
保証書	裏表紙

株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33



ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⊘ この記号は、してはけない「禁止」内容です。

! この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

➡ この記号は、関連するページを示します。

⚠警告

! 異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがある等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。

⊘ サービスマン以外の人、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⊘ 破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オープンや高压容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

⊘ 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。

! 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

! 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。

! お手入れの際は、シガープラグコードを抜いてください。感電の原因となります。

! シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。接触不良を起こして火災の原因となります。

! 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

⊘ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

! 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

! シガーライターソケットは単独で使ってください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

⊘ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

! 粘着マット、粘着シートの貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落してください。粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

! 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⊘ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

⊘ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

⚠注意

⊘ 気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けしないでください。

⊘ 落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。

⊘ ペンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。

⚠ 本機は精密機械です。静電気 / 電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

⊘ お手入れの際は、OBD II アダプターを抜いてください。感電の原因となります。

⊘ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

⊘ 各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。

⊘ 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

! 車から離れるときは、電源を OFF にしてください。使用しないときは電源を OFF にしてください。

! OBD II アダプターを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。電源ケーブルに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ず OBD II アダプターの本体部分を持って抜いてください。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 電波の透過率が低いガラス（金属コーティングの断熱ガラスなど）の場合、電波が受信しにくくなり、GPS 測位機能がはたらかない場合や、取締レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによるダッシュボードおよび車両の変色・変形（跡が残る）に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 表示部に関する注意

- ・表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

■ シガープラグコードに関する注意

- ・シガープラグコードは、必ず同梱品をご使用ください。
- ・シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ(1A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いて、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご相談ください。

■ 取り付けに関する注意

- ・GPS 衛星からの電波やレーダー波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- ・車載されている他の電装機器のアンテナの近くなど、他の電装機器の電波干渉により GPS 衛星の電波を受信できない場合があります。本機を取り付ける場所は、他の電装機器との間隔を十分取ってください。
- ・水がかかったり、熱風が当たる場所には取り付けしないでください。
- ・本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
- ・本機を道路に対して水平に、またレーダー / 無線アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、GPS 受信、レーダー / 無線受信が正しく動作しないことがあります。

■ microSD カードに関する注意

- ・microSD カードの出し入れは、本機の電源を OFF にした状態で行ってください。
- ・microSD カードは一方にしか入りません。無理に押し込むと、本機や microSD カードが壊れることがあります。

■ 無線 2 バンド受信機能に関する注意

- ・カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本機は、受信した音声聞くことはできません。
- ・カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー 2 識別は、はたらかません。

■ レーダーアラームに関する注意

- ・走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- ・狙い撃ちの取締り機（ステルス型取締り機）は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・レーダー波を使用しない速度取締り（光電管式など）の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。

■ GPS 測位機能に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- ・車載 TV を UHF56 チャンネルに設定していると、GPS 測位できない場合があります。UHF56 チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS 受信に悪影響を与えるためです。
- ・新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS 警報できませんのであらかじめご了承ください。
- ・GPS 警報の左右方向識別ボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

■ 画面表示に関する注意

- ・GPS 測位が完了するまでは、「測位情報」を表示し、GPS 測位すると設定した待受画面を表示します。
- ・日付および時刻は、GPS 測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。（測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。）
- ・時刻の表示は、24 時間表示です。12 時間表示に変更することはできません。
- ・走行速度や GPS ターゲットまでの距離、自転車アイコンは、GPS や VPS により計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される（プラス誤差）傾向があります。
- ・渋滞や低速走行時（発進直後を含む）は、速度表示を正しく表示しないことがあります。

■ 別売品の OBD II アダプターで接続した場合

- ・取り付ける車両によっては表示できない待受画面の項目があります。
- ・イグニッションを OFF にしてから本機の電源が OFF するまで、数秒から数十秒かかります。
- ・車検、点検等の後は、故障診断装置接続の為本機の OBD II アダプターが抜けている場合があります。その際は再度 OBD II コネクターへ本機の OBD II アダプターを挿し込んでください。

■ 別売品の電源直結コードで接続した場合

- ・電源直結コードには、ヒューズホルダーが接続されています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ(1A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、本機から電源直結コードを抜いて、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

必ずお読みください

本書をお読みいただくにあたって

- 本書はすぐに本機をご使用いただくための基本的な手順と、ご使用に伴って機能をカスタマイズしたい場合の手順を分けて記載してあります。

必ずお読みください P. 2

使用の準備 P. 13

取締りのミニ知識 P. 22

基本的な使い方 P. 24

レーダー探知機を初めて使う場合は、この部分をお読みください。

カスタマイズ P. 46

機能のカスタマイズが必要な場合は、こちらもお読みください。

ity. P. 58

ity. マップサービスとオービス・取締り系&コンテンツデータ更新のご案内です。

その他 P. 60

「故障かな?と思ったら」が記載されています。
例外的な手順はこちらをお読みください。

※説明のために差し支えない部分において、該当以外の機種のイラストを使用している場合があります。

※本書で使用している画像は、実際の画面とは見えかたが異なる場合があります。

本機について

GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締り装置)にも警告します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、47種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS47識別]

クイック測位&準天頂衛星「みちびき」対応

前回電源をOFFにした時刻と自車位置情報を基に、GPS衛星位置を予測し、現在の自車位置をすばやく測位することができます。さらに、「みちびき」に対応することで、より正確な自車位置を計測。



※ 次の場合、クイック測位は機能しません。

- ・最後に本機の電源をOFFにしてから48時間以上経過した場合。
- ・最後に本機の電源をOFFにした時と、次に電源をONにした時のGPS衛星の状況が異なる場合。
- ・GPSの受信を妨げる遮蔽物や妨害波がある(存在する)場所で本機の電源をONにした場合。

VPS(バーチャルポジショニングシステム)

GPSで、自車の進行状態を検知して、ルートのずれを補正します。
GPS非測位時には、VPS(バーチャルポジショニングシステム)が行う進行距離計算によって、より高精度な警告をすることができます。

気圧センサー

気圧センサーで、気圧の変化による高度変化を計測します。

OBD II 車速検知 ※別売品のOBD IIアダプターで接続時

GPSを受信できないトンネル内でも、正確な車速情報を得ることができます。

受信可能な電波

取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線2バンド受信をプラスし、5バンド受信ができます。

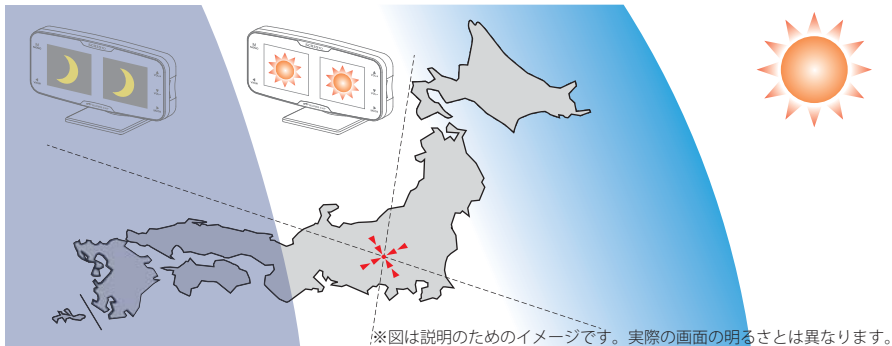
$$\boxed{\text{GPS}} + \boxed{\frac{\text{Xバンド}}{\text{Kバンド}}} + \boxed{\text{無線2バンド}} =$$

5
BAND

本機について

画面の明るさ調節(フレックスディマー)

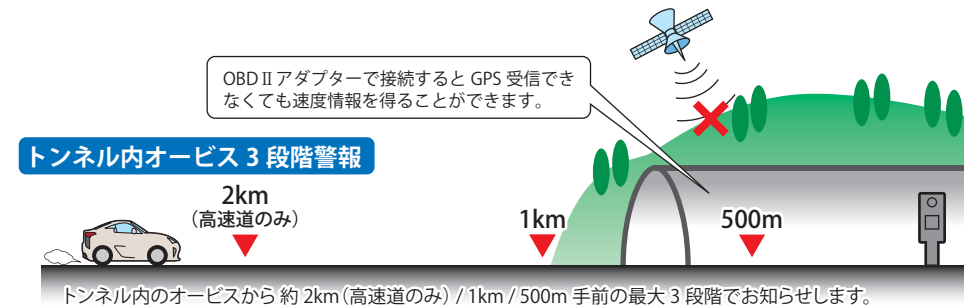
夜間は、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。
GPS 情報等により、それぞれの地域および季節などに応じ自動的に画面表示の明るさを調整します。



※図は説明のためのイメージです。実際の画面の明るさは異なります。

トンネル内の警報・警告について

本機は、VPS (バーチャルポジショニングシステム) により、GPS を受信できないトンネル内のオービスや取締エリアをお知らせします。さらに別売品の OBD II アダプター(OBD12-M) で接続した場合は、OBD II 車速検知により高精度な警報を行います。



トンネル内追尾式取締エリア警告



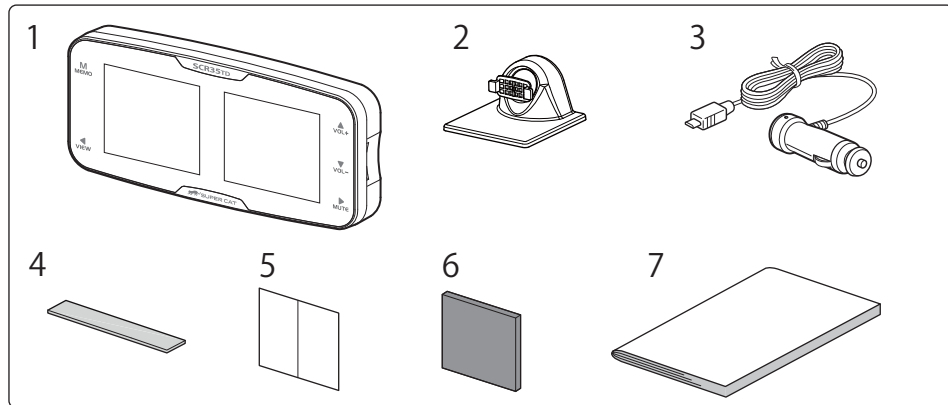
トンネル出口直後ネズミ捕りエリア警告



同梱品の確認

同梱品の確認をしてください

製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。



番号	名称	説明
1	本機	SCR35TD 本体です。
2	ダッシュボード取り付け用ブラケット	本機を車両のダッシュボードに取り付けるのに使用します。
3	シガープラグコード	車両のシガーライターソケットから本機に電源を供給するためのコードです。
4	直付け用両面テープ	本機をダッシュボードに直接取り付ける場合に使用します。
5	粘着シート	粘着マット使用時にダッシュボードに貼り付きにくい場合に使用します。
6	粘着マット	ダッシュボード取り付け用ブラケットをダッシュボードに固定します。
7	取扱説明書・保証書(本書)	裏表紙が保証書になっています。 お買い上げいただいた販売店の店名・住所が記載されていることをご確認ください。記載されていない場合は、販売店に確認ください。

同梱品の追加購入について

本機同梱品を追加購入されるかは、当社ホームページをご覧ください。

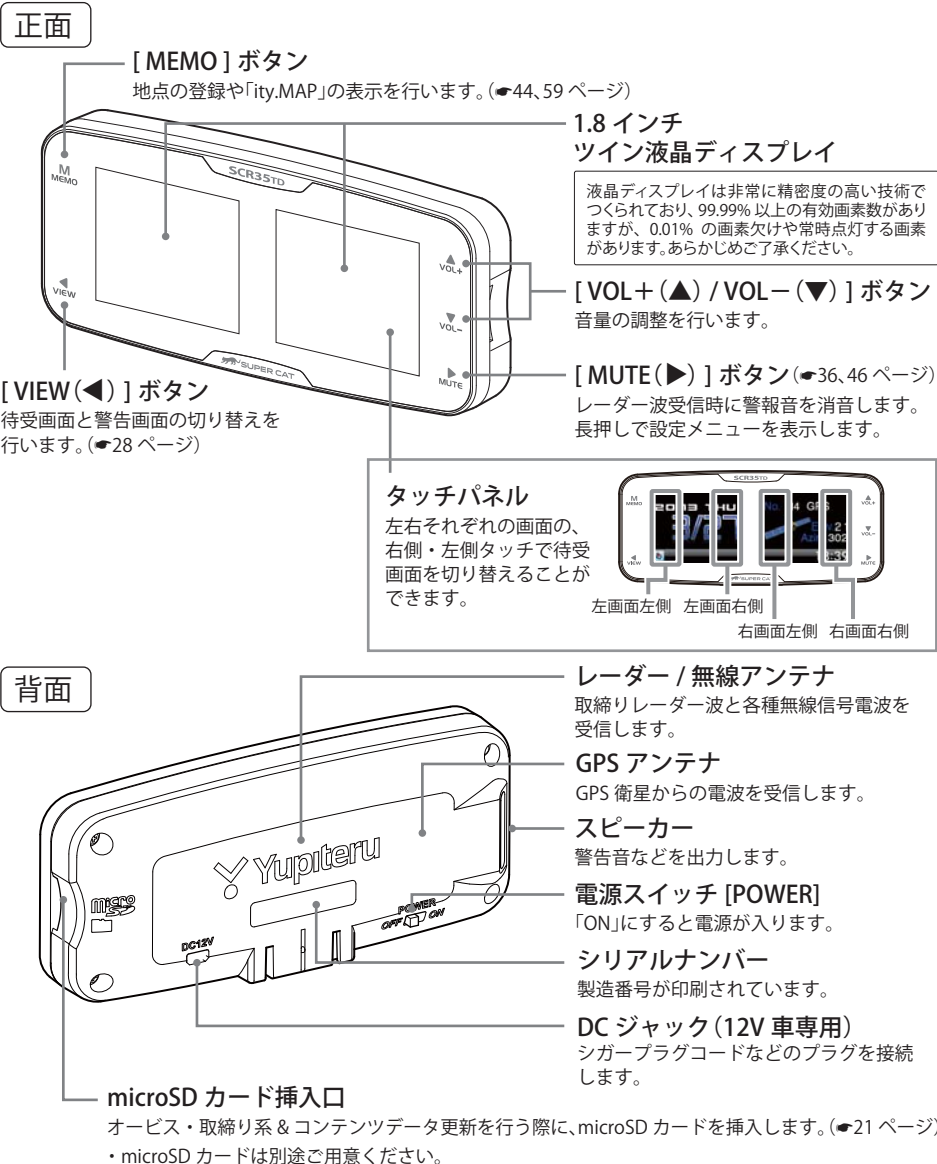
Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

・YUPITERU スペアパーツダイレクトでは、製品の付属品・補修部品等をお買い求めいただけます。

各部の名称と働き

各部名称

本機

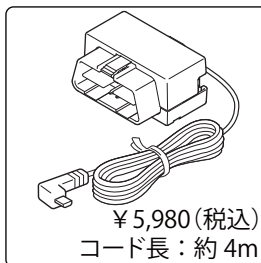


別売品のご案内

つづく

お使いいただくことでより便利に、また本機の性能を100%活用できるようになります。

OBD II アダプター (OBD12-M)



シガープラグコードのかわりに本機への電源供給を行うと同時に、車両側の OBD II に関する情報を取り出して画面に表示させたり、より正確な警告を行うことができるようになるアダプターです。

OBD II アダプター (OBD12-M) 使用時は、下記製品は使用できません。

同梱品



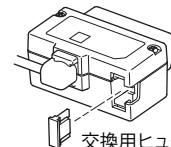
シガープラグコード

別売品



電源直結コード (OP-9U)

■ヒューズの交換方法

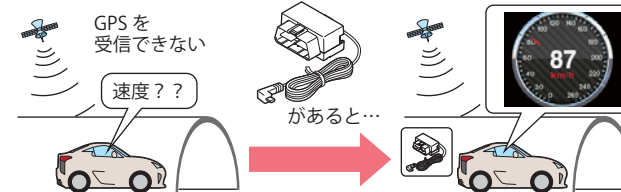


交換用ヒューズ：低背ヒューズ 2A

本機の標準仕様では表示されない OBD II 情報を待受画面として表示させることができます。各画面についての詳細は、「各待受画面の説明」(●31 ページ)をご覧ください。



OBD II アダプター (OBD12-M) を使用していない場合、トンネル内など GPS を受信できない場所では速度情報を得ることができません。ご使用いただくことで、GPS を受信できなくても速度情報を得て、速度表示や正確な警告を行うことができます。



⚠注意

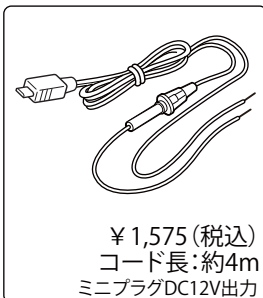
- ⚠ OBD II アダプター (OBD12-M) 使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や当社ホームページで OBD II アダプター適応表をご確認ください。
- ⚠ OBD II アダプター (OBD12-M) には、適応車種が指定されています。販売店の店頭や当社ホームページで OBD II アダプター適応表をご確認いただいた後からお求めください。

⚠警告

- ⚠ 本機の DC ジャックは USB 端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器の USB 端子と接続しないでください。

必ずお読みください

電源直結コード(OP-9U)



シガープラグコードの代わりに、車内のアクセサリ系端子から直接電源を取り出します。コードが目立たず配線することができます。

電源直結コード(OP-9U)使用時は、下記製品は使用できません。

同梱品



シガープラグコード

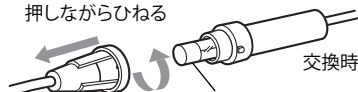
別売品



OBD II アダプター

■ヒューズの交換方法

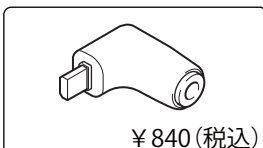
押しながらひねる



交換時ヒューズを落下させないようにしてください。

交換用ヒューズ：管ヒューズ 1A (30mm×6.5mm)

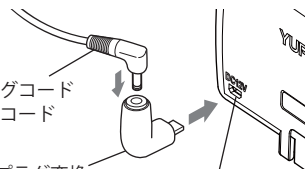
DCプラグ⇒ミニプラグ 変換コネクター (OP-8U)



弊社レーダー探知機からのお買い換えなどの場合に、既存のシガープラグコードや電源直結コードを継続して使用していただけるように、本機接続側のDCプラグをミニプラグに変換するコネクターです。

既存のシガープラグコード
もしくは電源直結コード接続可能なプラグ
の先端形状既存のシガープラグコード
もしくは電源直結コードDC プラグ⇒ミニプラグ変換
コネクター (OP-8U)

DC ジャック



DC 5V → 使用できません。
電源電圧が DC 5V 仕様の場合。

下記のいずれかの製品で、新たに配線してください。

同梱品



シガープラグコード

別売品

電源直結コード
(OP-9U)

別売品

OBD II アダプター
(OBD12-M)

取り付け(本機取り付け)

つづく

本機を使用する手順として「本機を取り付ける」「電源コードをつなぐ」の手順に従って説明します。まず本機を取付けます。下記の2通りの取り付け方法があります。

①ブラケットを使用して取り付ける

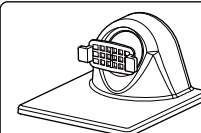
②粘着マットでダッシュボードに直接取り付ける

どちらかの方法で取り付けを行ってください。

⚠注意

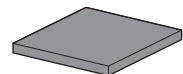
- ❗ 取り付けにより、ダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ❗ ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取り付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。本機やダッシュボード取り付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- ❗ GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。

①ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける



ダッシュボード取り付け用ブラケット

自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットです。
[特許出願中]



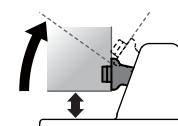
粘着マット

国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。

ダッシュボード取り付け用ブラケットの調整



アーム部



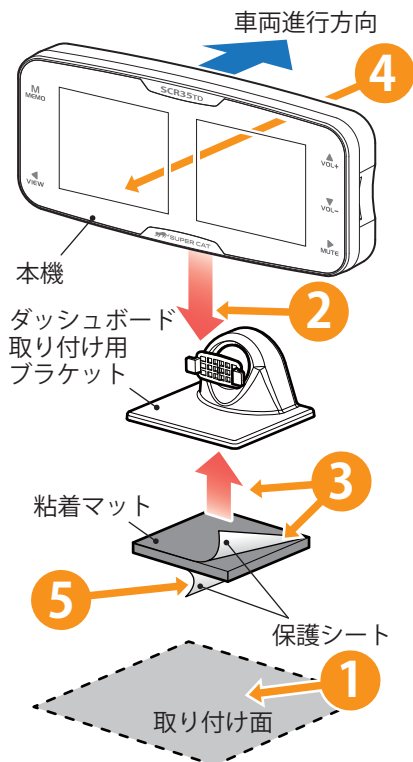
アーム部を 180° 反転して取り付ける



ダッシュボード取り付け用ブラケットは、アーム部の取り付け向きを180度変えることで、本機の実取り付け高さを抑えることができます。

アームの向きを変えると、本機を起す方向は、より広い取り付け角度に対応することができますが、左右に倒す方向の取り付け角度は狭くなります。ダッシュボードの取り付け面の角度に応じて調整してください。

アーム部の取り付け・取り外しは60ページをご覧ください。



1 ダッシュボードの取り付け面にホコリや汚れがないことを確認してください。取り付け面は、なるべく平らで水平に近く、GPSを受信しやすい場所にしてください。

2 本機の溝をブラケットに合わせ取り付けます。

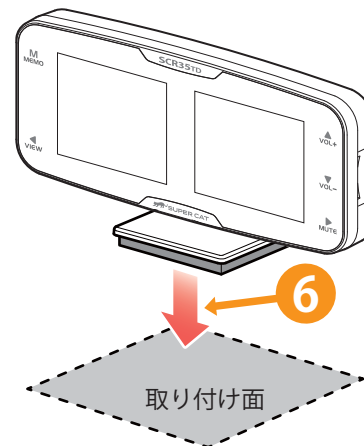
3 保護シートを片面だけをはがし、粘着マットをブラケットに貼り付けます。

4 シガープラグのDCプラグを本機に挿して、PWRをONにしておきます。

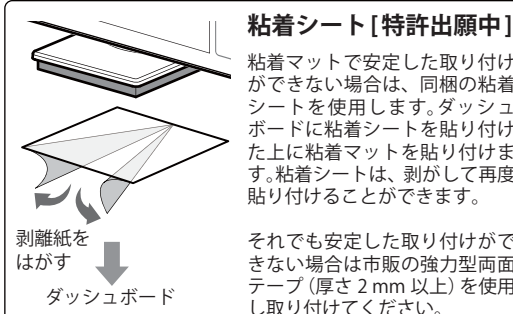
5 残りの保護シートをはがします。

粘着マットは水洗いできます。

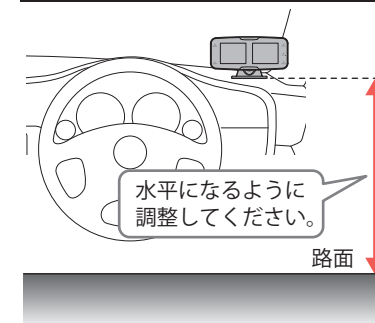
ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。



6 ダッシュボードの取り付け面に取り付けます。本機を破損しないようブラケットを押さえて貼り付けます。



7 GPSアンテナやレーダーアンテナが正しく動作するように、本機の背面が車両進行方向を向くようにし、画面が見やすいように調整してください。

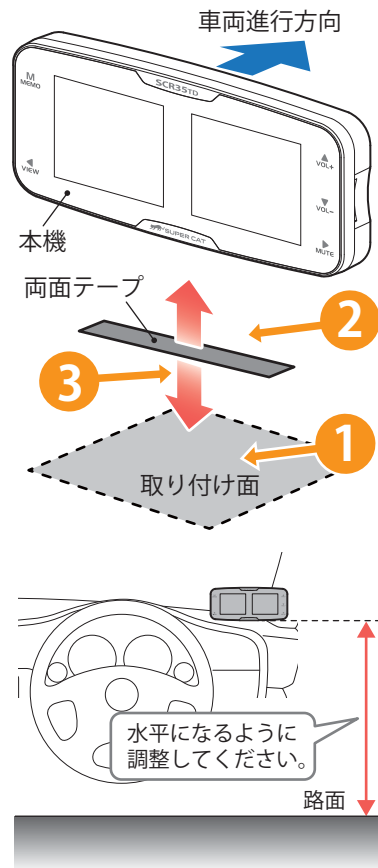


⚠注意

- ❗ 取り付けにより、ダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ❗ ダッシュボードから外す場合は、ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。本機やブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- ❗ GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。

取り付け(本機取り付け)

②直付け用両面テープでダッシュボードに直接取り付ける



1 ダッシュボードの取り付け面にホコリ、汚れや脂がないことを確認してください。取り付け面は、なるべく平らで水平に近く、GPSを受信しやすい場所にしてください。

2 直付け用両面テープの保護シートを片面だけはがして、本機の底面にしっかりと貼り付けてください。

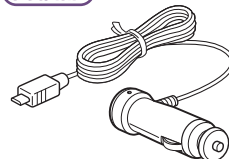
3 直付け用両面テープの残った保護シートを剥がしてください。本機の背面を車両進行方向に向けて、水平な路面と平行になるように取り付けてください。取り付けをしたあと、剥がすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

取り付け(電源コードの配線)

つづく

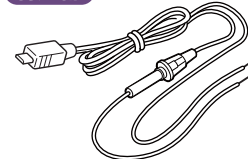
3種類の配線方法があります。同時に複数の配線を行うことはできません。

同梱品



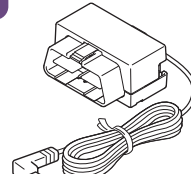
①シガープラグコード

別売品



②電源直結コード(OP-9U)

別売品



③OBD II アダプター(OBD12-M)

警告



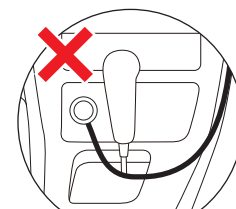
本機のDCジャックはUSB端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器のUSB端子と接続しないでください。



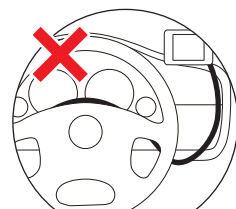
DCジャック
USB端子ではありません。

ご注意ください

●特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。



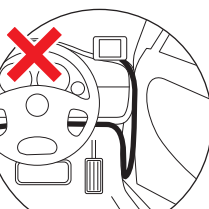
シフトレバー
操作の邪魔



ハンドル
操作の邪魔

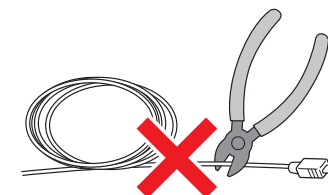


ペダル
操作の邪魔



コードの
挟み込み

●コードが長くても、切って短くしないでください。



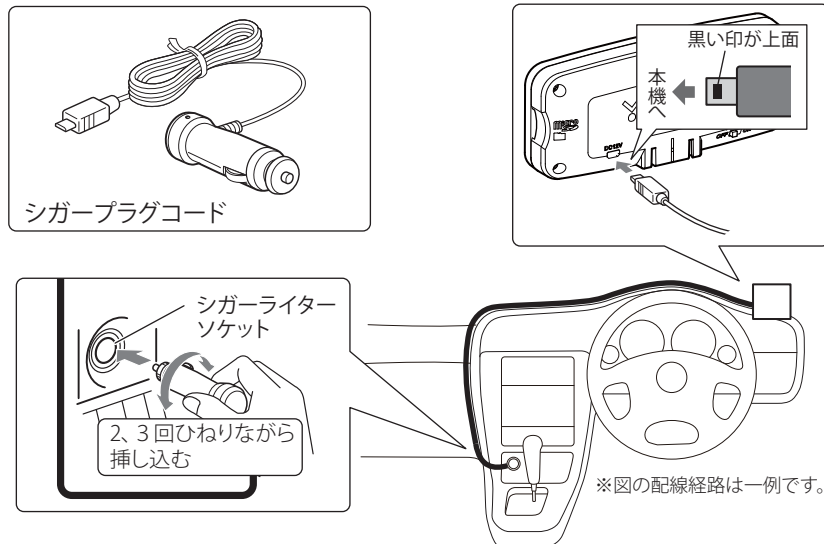
市販品のコード固定クリップでコードをダッシュボードに固定したり、タイラップでコードを束ねることができます。



使用の準備

①シガープラグコードによる配線

同梱品

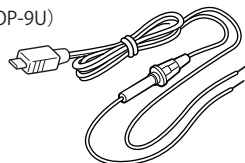


ご注意ください

- 一部の車種において、シガーライターソケットの形状が合わないことがあります。その場合は、別売品の電源直結コード(OP-9U)をご使用ください。

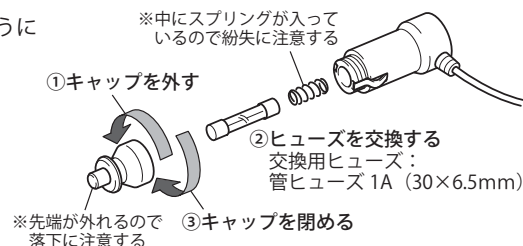
別売品

電源直結コード(OP-9U)



●ヒューズの交換方法

交換時ヒューズや部品を落下させないようにしてください。

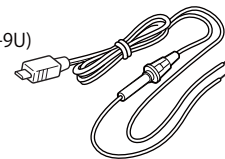


②電源直結コード(OP-9U)による配線

別売品

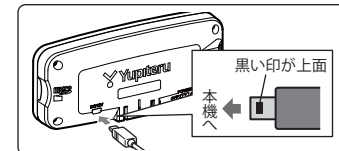
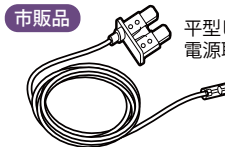
別売品

電源直結コード(OP-9U)
¥1,575(税込)
コード長：約4m

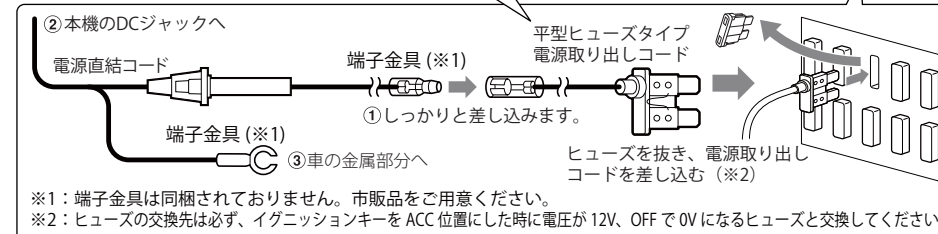
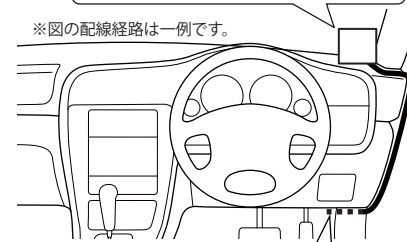


市販品

平型ヒューズタイプ
電源取り出しコード



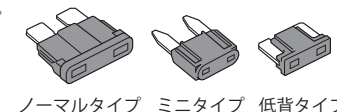
※図の配線経路は一例です。



※1：端子金具は同梱されておりません。市販品をご確認ください。

※2：ヒューズの交換は必ず、イグニッションキーをACC位置にした時に電圧が12V、OFFで0Vになるヒューズと交換してください。

※ヒューズボックスから電源をとることができる「平型ヒューズタイプ電源取り出しコード(市販品)」を使用します。(ノーマルタイプ、ミニタイプ、低背タイプがありますので、あらかじめヒューズボックス内でサイズと容量をご確認の上、ご用意ください。)

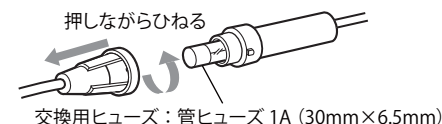


警告

- ⚠ 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車のバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
- ⚠ カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- ⚠ 平型ヒューズタイプ電源取り出しコードの取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。

●電源直結コードのヒューズ交換方法

交換時ヒューズや部品を落下させないようにしてください。

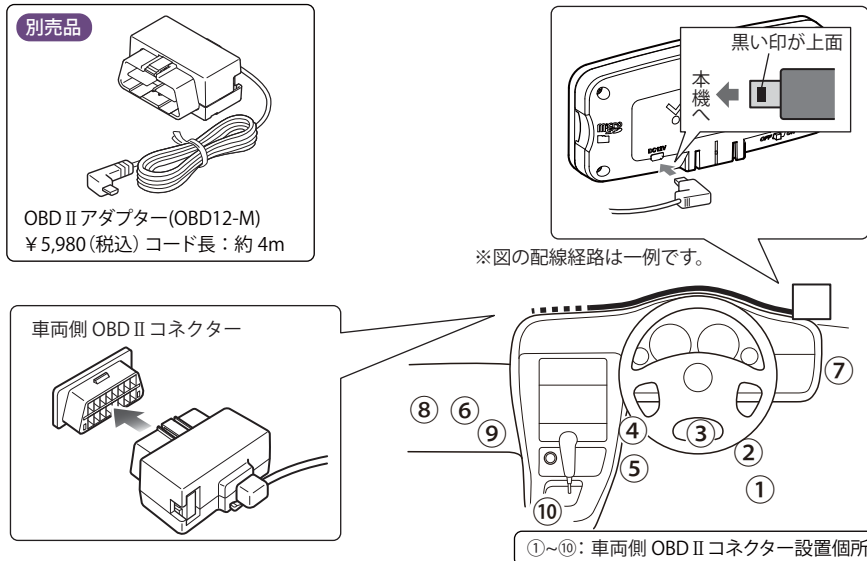


取り付け(電源コードの配線)

③ OBD II アダプター(OBD12-M)による配線

OBD II アダプター

別売品 ●OBD II アダプターによる配線時には、OBD II アダプターのディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は、OBD II アダプターの取扱説明書をご確認ください。対応車種については、店頭もしくは当社ホームページのOBD II アダプター適応表にてご確認ください。



- | | | |
|------------|-----------------|---------------|
| ① アクセルペダル脇 | ⑤ センターコンソール右側 | ⑨ センターコンソール左側 |
| ② 運転席足元右側 | ⑥ 助手席足元右側 | ⑩ センターコンソール下 |
| ③ 運転席足元中央 | ⑦ ステアリング右脇パネル裏側 | |
| ④ 運転席足元左側 | ⑧ 助手席足元左側 | |

①～⑩の箇所ですら車両側 OBD II コネクターを探してください。カバーやコンソールなどの内側になっている場合があります。

警告

❗ 故障の原因となりますので、必ずエンジンキーがOFFになっていることを確認してから、配線を行ってください。

●OBD II コネクターのヒューズ交換方法



microSDカードの出し入れ

オービス・取締り系&コンテンツデータ更新をご利用の際にはmicroSDカードが必要です。

オービス・取締り系&コンテンツデータ更新をご使用の際は、市販品の8GB以下(2GB以上推奨)のmicroSD(microSDHC)カードを別途ご用意ください。

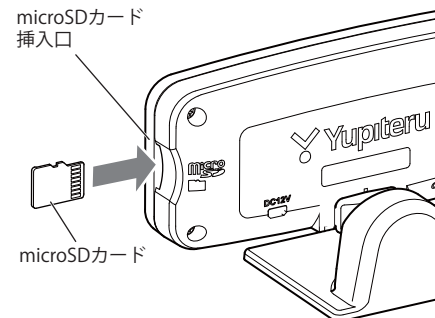
※microSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

注意

- ・microSDカードの出し入れは、必ず電源がOFFの状態で行ってください。
- ・microSDカードは一方方向にしか入りません。microSDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本機やmicroSDカードが壊れることがあります。
- ・データ更新中は、絶対にmicroSDカードを抜かないでください。

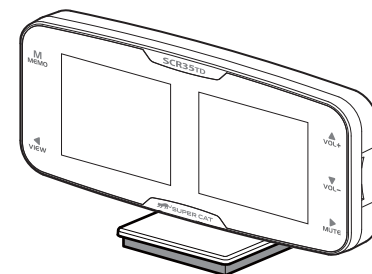
電源をOFFにしてmicroSDカード挿入口にmicroSDカードを『カチッ』と音がするまで差し込みます。

右図の向きに合わせて差し込んでください。



- ・microSDカードは本機専用でご使用ください。
- ・microSDカードを取り出す時は、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。
- ・microSDカードは、必ず取り外してご使用ください。
- ・microSDカードの接続や取り外しは、無理に差し込んだり引き抜かないでください。
- ・ity.データ更新用のmicroSDカードを接続したままの状態や、半分挿入した状態でご使用にならないでください。
- ・microSDカードを取り外したあとは、各microSDカードの説明書の指示に従って大切に保管してください。
- ・読み込みエラー表示が出た時は、電源を切り、microSDカードを差し直すか、別のmicroSDカードでお試ください。

お疲れ様でした。
これで本機をお使いいただくための準備は終了です。



使用の準備

取締りのミニ知識

本書では取締り方法について、以下を想定して説明しています。

スピード違反の取締り方法

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。大きく分けて3つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。

2. 距離と時間で算出する方法(光電管・ループコイル式オービス)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。

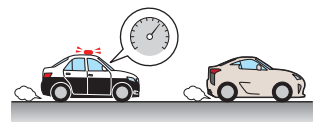
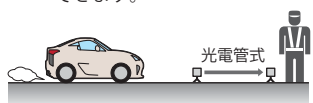
測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

- この方式は取締りレーダー波を発射しておりません。GPSターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。

3. 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

- 追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。



取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。

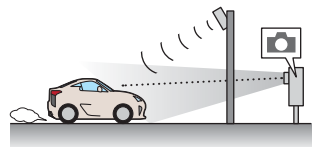
取締りレーダー波は、直進性が強いいため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



自動速度取締り機

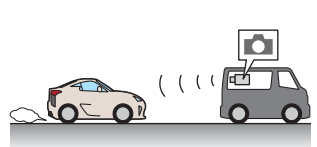
(新Hシステム、レーダー式オービス)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



移動式

測定装置を車両に搭載して、移動しながら測定を行います。



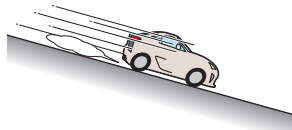
取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。
- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



〔前に走行中の車がある場合〕



〔下り坂〕

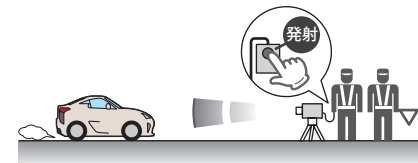


〔コーナー〕

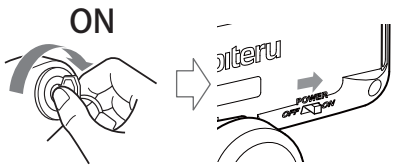
ステルス型取締りについて

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。



電源をONにする



1 エンジンキーをONにし、本機の電源スイッチを『ON』にします。

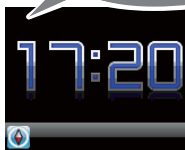


オープニング画面

待受画面表示(例)



左画面

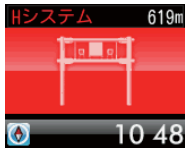


右画面

GPS ターゲット警報(例)



左画面



右画面

『♪(起動音)』

『GPSを測位しました』

2 最初にオープニングアニメーションが表示されます。

3 本機がGPS衛星を見つけると、画面が待受画面に変わります。必ず『GPSを測位しました』のボイスを確認してから出発してください。本機の位置によっては、待受画面が表示されず、いきなり警報画面が表示される場合があります。※GPSを受信するまでは測位情報画面が表示されます。

OBD II アダプター(OBD12-M)で配線を行った場合

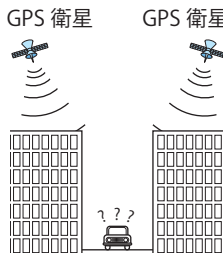
OBD II アダプター

初めて OBD II アダプターを車両に取り付ける場合は、本機の起動に数分かかることがあります。

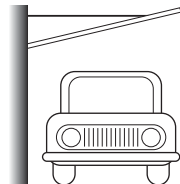
測位に時間がかかることがあります

次のような場合、本機の電源を入れてから『GPSを測位しました』と音声が出るまでに、時間がかかる、もしくは測位できない場合があります。その場合は、障害物や遮蔽物のない視界のよい場所へ移動し、車を停車してください。

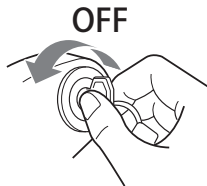
建物の谷間



屋根の下



電源をOFFにする

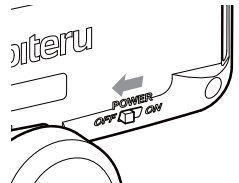


車のエンジンキーをOFFにすると、本機の電源も連動してOFFになります。

エンジンキーをOFFにしても本機の電源がOFFにならない場合

車種によってエンジンキーをOFFにしても、本機の電源がOFFにならない場合があります。その場合は、本機の電源スイッチを操作して電源をOFFにしてください。

※バッテリー上がりの原因となります。



警告

！ 本機の電源をOFFにするためにコードを抜くと、故障の原因となる場合があります。本機の電源をOFFにするときは、必ずエンジンキーをOFFにするか、本機の電源スイッチを操作して電源をOFF(OBD II アダプター接続時は除く)にしてください。

OBD II アダプター(OBD12-M)で配線を行った場合

OBD II アダプター

エンジンキーをOFFにしたあと、本機の電源がOFFになるまで車種によって数秒から数十秒かかります。また、OBD II アダプターで接続した場合は、本機の電源スイッチで電源をOFFにしないでください。

音量の調節



▲タッチ [VOL+], および▼タッチ [VOL-] で音量を調整できます。『ピッ』という確認音で音量を確認してください。

VOL7(最大)からさらに▲をタッチすると、『ブブツ』と鳴ります。

設定により、表示位置が右画面・左画面で切り替わります

マナーモード

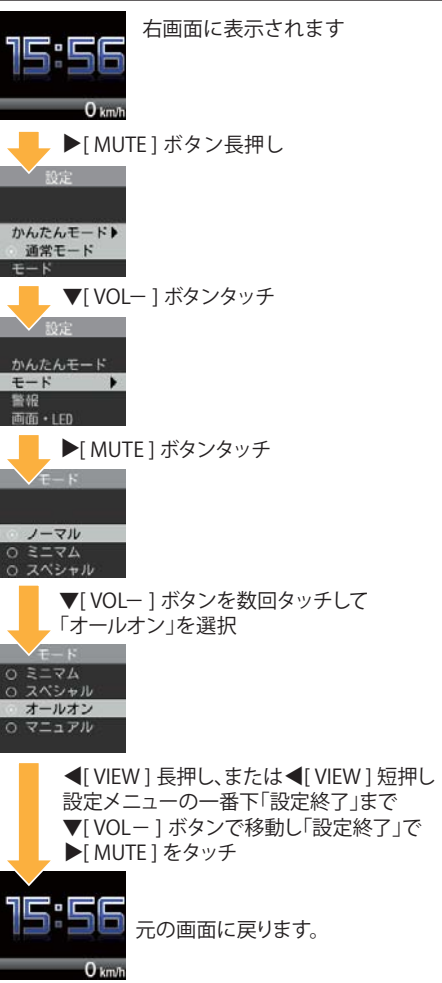
マナーモードに入ると、約2秒後に画面表示が消え、音声および画面によるすべての警報が行われなくなります。

VOL 0(消音)からさらに▼をタッチすると、マナーモードになります。元に戻すには、▲をタッチしてください。

すべての機能を使う

オールオンモードの設定

本機のすべての機能を使用できます。
※初期設定は、ノーマルモードになっています。



このオールオンモードでお使いいただき、必要に応じてモードを変更することができます。
(●48ページ)

設定終了～出発

本機のすべての機能(オールオンモード)を使う設定が完了しました。なお、ここまでの設定は、1度行えば、次の電源ON以降は必要ありません。

現在の設定概要は次のようになっています。

モード設定：オールオン	警報できるすべての取締りレーダーおよびGPSターゲットに対して警報画面が表示され、それにともなう音声流れます。
待受画面： レーダースコープ(左画面) 時計(右画面)	左画面にレーダースコープ、右画面に時計が表示されます。
受信感度モード：AAC/ASS	時速30km未満では、取締りレーダーに対する警報を行いません。また、時速30km以上では、速度が上がるにしたがって段階的に受信感度が上がっていきます。
レーダー警報音：ボイス	警報の発生時、音声でお知らせします。
Iキャンセル：ON	誤警報を行うと、同じ地点の2回目以降の警報を自動でキャンセルします。
道路選択：オート 気圧あり	車両が一般道または高速道路どちらを走っているかを判別し、判別された道路のGPSターゲットに対してのみ警報が行われます。 ※一般道と高速道が並行/交差している場所およびその周辺では、両方の警報を行うことがあります。また、渋滞等で高速道を低速走行すると、一般道と判別することがあります。
明るさ：ふつう	画面の明るさ。「最小」～「明るい」間の「ふつう」になっています。
時報：ON	毎時、正時に『午前(午後)〇〇時になりました』と音声流れます。
リラックスチャイム：2時間	本機の連続電源ONで、2時間おきに『長時間運転しています。休憩しませんか?』と音声流れます。

2画面警告モードと待受画面モード

通常表示する待受画面と、警告時に表示する警告画面の表示するパターンを設定できます。それぞれの画面は、左右どちらにでも設定できます。

2画面警告モードと待受画面モードの切替について

◎2画面警告モード

自車位置とターゲットの位置を表示する「レーダースコープ」画面と、ターゲット種類・距離をお知らせする「お知らせパネル」を同時に表示します。お知らせパネルでの警告がない場合はステータスバーのみの表示になります。

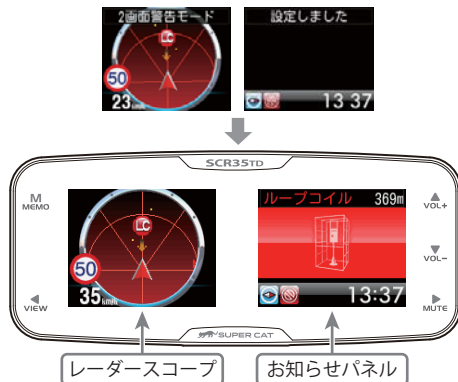
◎待受画面モード

警告時の画面表示方法を設定できます。

※待受画面の設定でVIEWボタンモードと同じ表示設定にすることも可能です。

●切替方法

[VIEW]ボタンを長押しする。



2画面警告モード
※「お知らせ表示→右画面」に設定した場合。
(☛53ページ)

2画面警告(待受画面モード)

警告時に自車位置とターゲットの位置を表示する「レーダースコープ」画面と、ターゲット種類・距離をお知らせする「お知らせパネル」を同時に表示します。

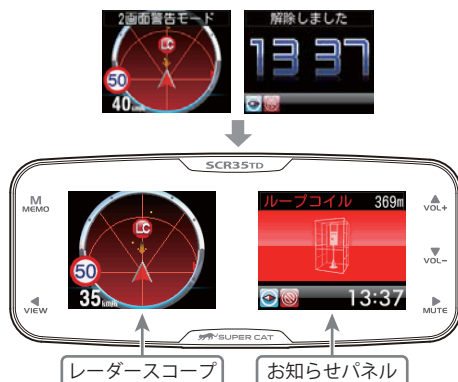
表示するタイミングは切替できます。

●表示方法1

左画面の設定を「レーダースコープ」に設定。
右画面の設定を「表示切替距離→切替なし」
「ターゲット情報→お知らせパネル」に設定。

●表示方法2

「表示切替距離→距離を設定」「ターゲット情報→お知らせパネル」に設定すると、ターゲットとの距離が、表示切替距離で設定した距離になると切り替わります。



※「お知らせ表示→右画面」に設定した場合。(☛53ページ)

1画面警告-1(待受画面モード)

自車位置とターゲットの位置を表示する「レーダースコープ」画面と、待受け画面の上部にターゲット種類・距離をお知らせする「テロップ」を表示します。初期設定ではこの設定になっています。

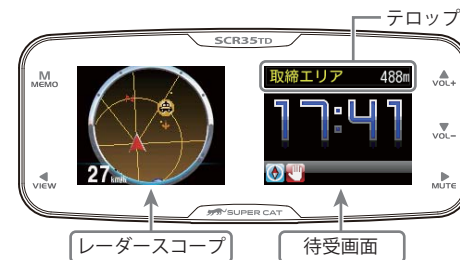
※「お知らせ表示→右画面」に設定した場合。

●表示方法1

左画面の設定を「レーダースコープ」に設定。
右画面の設定を「表示切替距離→切替なし」
「ターゲット情報→テロップ」に設定。

●表示方法2

「表示切替距離→距離を設定」「ターゲット情報→テロップ」に設定すると、ターゲットとの距離が、表示切替距離で設定した距離になると切り替わります。



1画面警告-2(待受画面モード)

左画面は待受画面を表示し、警報時は右画面にお知らせパネルを表示します。

※「お知らせ表示→右画面」に設定した場合。

●表示方法

左画面の設定を、「レーダースコープ」以外の待受画面に設定し、右画面の設定を「表示切替距離→切替なし」「ターゲット情報→お知らせパネル」に設定。

※左右どちらの画面にお知らせパネルを表示するか設定できます。「お知らせ表示」



警告画面なし(待受画面モード)

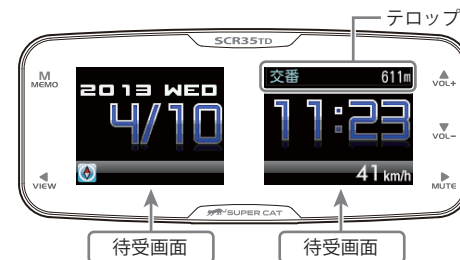
左右画面とも待受画面を表示し、警報時は右画面にテロップのみで表示します。

※「お知らせ表示→右画面」に設定した場合。

●表示方法

左右両方の画面設定を、「レーダースコープ」以外の待受画面に設定し、右画面の設定を「表示切替距離→切替なし」「ターゲット情報→テロップ」に設定。

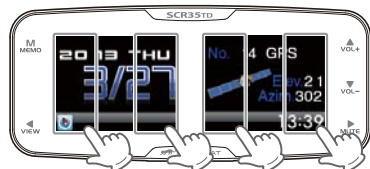
※左右どちらの画面にテロップを表示するか設定できます。「お知らせ表示」



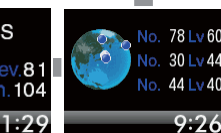
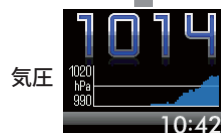
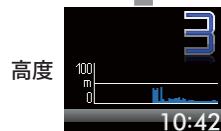
待受画面

警報やお知らせがない時に、運転に役立ついろいろな情報を表示するのが待受画面です。待受画面は、9種類および「ローテーション」と「OFF」が用意されています。OBD II アダプターで接続しているときは2種類増加します。

待受画面を変更する時は、それぞれの画面左右をタッチします。
待受画面が順番に切り替わり、数秒間画面名称が上部に表示されます。
※枠はイメージです



※各画面は参考です。



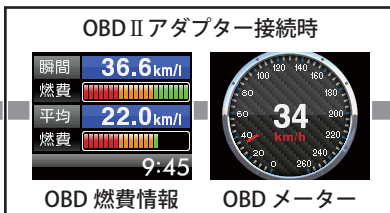
測位情報

OFF

待受画面を消します。
(各種警報は音で行われます。)

「OFF」以外の画面を順に表示します。

ローテーション



OBD 燃費情報

OBD メーター

衛星情報

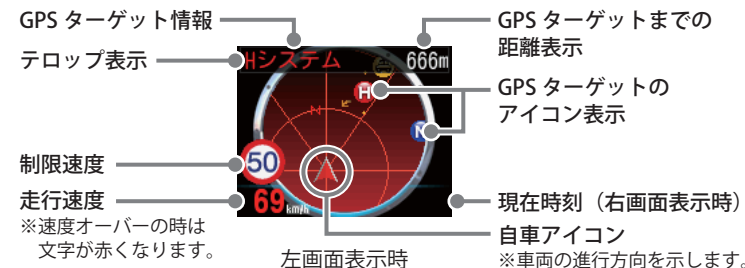
測位情報

- 初期設定は、「レーダースコープ」(左画面)、「時計」(右画面)に設定されています。
- 日付および時刻は、GPS 測位機能により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。
- GPS 非測位時は画面下の時計色が赤色になります。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- 時刻の表示は、24時間表示です。
- 走行速度はGPSの情報に基づき表示しています。別売品のOBD II アダプターで接続した場合は、OBD II 車速情報に基づき表示しています。また、車両の速度計は、数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
※車両の速度計とは一致しません。
※補正機能はありません。

各待受画面の説明

レーダースコープ

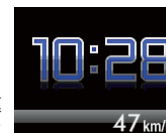
現在地付近の本機に登録されたGPSターゲットに近づく、現在地との位置関係をイメージで表示し、お知らせします。



- 制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス)と一部の取締エリア警報時に表示します。
- 表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、ずれることがあります。
- 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやVPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- GPSを受信できなくなった場合、現在時刻表示が赤色になり、速度が表示されなくなります。
- 画面上に地図・地名・道路・建物等は表示しません。

時計

現在時刻を表示します。

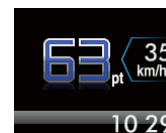


※右側画面の時は画面下部に速度を表示し、GPS非測位になると速度が表示されません。

- 時刻合わせは自動で行われますので、時刻合わせは必要ありません。
※GPSの受信状況により合わない場合があります。

エコドライブ

急加速、急減速、アイドリング時間、経済速度などからエコポイントを算出し、表示します。右に速度を表示します。GPS非測位になると速度は0km/hになります。

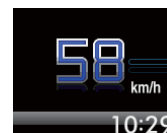


※右側画面の時は画面下部に時計を表示します。

- GPSの受信により、ポイントを算出します。走行データをもとに評価するものです。目安としてお考えください。
※実際の交通規制に従って走行してください。
※設定初期化を行うとポイントがリセットされます。

速度

車両の速度を表示します。



※右側画面の時は画面下部に時計を表示します。

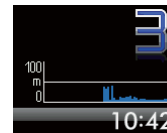
※速度が上がると、右側の目盛りが増えていきます。



- 速度の数値はGPSを受信して表示します。

高度

車両の高度を表示します。



※高度の変化をグラフで表示します。

※右側画面の時は画面下部に時計を表示します。

- 高度の数値はGPSと気圧センサより算出して表示します。トンネル内などGPSを受信できない場所では気圧センサの値を基に表示します。

気圧

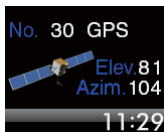
現在の気圧を表示します。
※高度の変化をグラフで表示します。



- 現在の気圧と気圧の変化を表示します。

衛星情報

受信している衛星の情報を表示します。



- 衛星番号、種類 (GPS、みちびき、ひまわり、SBAS)、仰角 (Elev.)、方位角 (Azim.) を表示します。定期的に画面が切り替わり、衛星を順番に表示します。

OBD II アダプター OBD II アダプターによる接続が必要です。

OBDメーター

OBD II アダプターにより、車両の情報を表示します。

以下の項目が表示可能です。

- ・車速
- ・エンジン回転数
- ・エンジン負荷
- ・スロットル開度
- ・燃料レベル
- ・インマニ圧
- ・エンジン水温
- ・吸気温度
- ・外気温
- ・エンジン油温
- ・瞬間燃費
- ・平均燃費
- ・今回燃費

※車両によって表示できる項目は異なります。

測位情報

GPSの受信状況を表示します。



電波強度 弱 強
青：GPS
赤：みちびき
緑：ひまわり

- GPSを受信している衛星の、衛星ナンバーと受信レベルを表示します。
※衛星ナンバーとは、衛星に割り当てられたナンバーです。

- 画面表示例
- ・車速



- ・エンジン回転数



- ・エンジン負荷
- ・スロットル開度
- ・燃料レベル



- ・インマニ圧



- ・エンジン水温
- ・吸気温度
- ・外気温
- ・エンジン油温



- ・瞬間燃費
- ・平均燃費
- ・今回燃費



OBDメーターで表示される項目の内容

●車速

現在の速度をアナログメーターと数字で表示します。

●エンジン回転数

エンジンの回転数をアナログメーターと数値で表示します。

●エンジン負荷

エンジンの負荷を0%～100%で表示します。
※アイドリング中でもエンジン負荷は0%にならない場合があります。

●スロットル開度

エンジンのスロットル開度を表示します。
※アイドリング中でもスロットル開度は0%にならない場合があります。

●燃料レベル

燃料タンクの残り燃料を表示します。

●インマニ圧

インテークマニホールドの圧力を表示します。
※この数値は1気圧に対しての相対値です

●エンジン水温

エンジン冷却水の温度を表示します。

●吸気温度

エンジンに吸気される空気の温度を表示します。

●外気温

車外の気温を表示します。

●エンジン油温

エンジンオイルの温度を表示します。

●瞬間燃費

現在の燃費を表示します。

●平均燃費

購入後またはリセット後の平均燃費を表示します。

●今回燃費

今回電源ONしてからの平均燃費を表示します。

※燃費について：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費計と一致しない場合があります。数値の補正はできません。

OBD燃費情報

OBD II アダプターにより、車両の情報を収集し、瞬間燃費と平均燃費を数値とバーで表示します。

以下の組み合わせが表示可能です。

- ・上段「瞬間燃費」
下段「平均燃費」
- ・上段「瞬間燃費」
下段「今回燃費」
- ・上段「今回燃費」
下段「平均燃費」



※燃費について：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費計と一致しない場合があります。数値の補正はできません。

本機をご購入時の状態では、正確な燃費は表示できません。

車両に合わせた燃費補正が必要です。

OBD II アダプターで接続したうえで、設定メニューから「OBD設定」→「燃費補正」を選択していただき、満タンから給油までの「走行距離」と「給油量」を入力してください。(➡57ページ)
燃費補正は一度行っていただくと、数値を記憶しますので、給油のたびに行う必要はありません。

アイコン表示について

画面下部にさまざまなアイコンを表示します。
通常、アイコンは左側画面に表示されますが、左側画面が「レーダースコープ」、「OBDメーター」、「OFF」画面のときは、右側画面に表示されます。
また、左右共「レーダースコープ」、「OBDメーター」画面に設定した場合はアイコンは表示されません。



※図は説明のためのアイコン表示です。実際の表示とは異なります。
※レーダースコープ画面では表示されません。

No	表示名	アイコン	表示の意味
①	方位磁針表示		GPS測位後に表示し、走行すると赤色の針が北方向を指します。 (停車状態のままでは針が青色で動きません。)
②	GPSサーチ中表示		電源をON後にGPS測位するまでの間や、測位した後一定の間GPSを受信できなくなった場合に点滅表示します。
③	カーロケ近接近受信表示		カーロケ無線の近接近受信時と圏内判定中に点滅表示します。
④	取締・検問エリア表示		取締エリア、検問エリア内で点滅表示します。(●39ページ)
⑤	駐車禁止監視エリア表示		駐車禁止監視エリア内で表示します。(●40ページ) 左：駐禁最重点エリア、右：駐禁重点エリア。
⑥	車上狙い多発エリア表示		車上狙い多発エリア内で表示します。(●41ページ)
⑦	ミュート表示		ミュート機能が作動中に表示します。(●36ページ)
⑧	時計表示		現在の時刻を表示します。また、待受画面を「時計」にしている場合は、速度表示になります。

GPSターゲットアイコン一覧

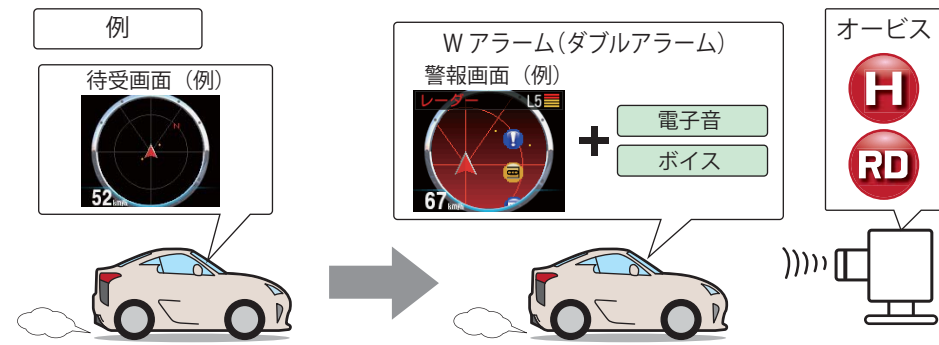
GPSターゲットのアイコン表示は、緊急度の高い順に「赤」→「黄」→「青」→「緑」の4色に識別して表示します。

色	ターゲット	アイコン表示
赤色	ループコイル	
	LHシステム	
	新Hシステム	
	レーダー式オービス	
黄色	ネズミ捕りエリア	
	移動オービスエリア	
	追尾式取締エリア	
	交差点取締エリア	
	その他取締エリア	
	シートベルト検問エリア	
	飲酒検問エリア	
	携帯電話検問エリア	
	その他検問エリア	
	交差点監視ポイント	
	信号無視抑止システム	
	高速道 交通警察隊	
	マイエリア	
	マイキャンセルエリア	

色	ターゲット	アイコン表示
青色	Nシステム	
	交通監視システム	
	警察署	
	事故多発エリア	
	交番	
緑色	サービスエリア	
	パーキングエリア	
	ハイウェイオアシス	
	高速道 長/連続トンネル	
	ハイウェイラジオ受信エリア	
	道の駅	
	ビューポイントパーキング	

取締りレーダー波を受信すると・・・

取締りレーダー波を受信した場合、画面に警告を表示しWアラームで警報します。
※左画面で表示した場合



Wアラーム(ダブルアラーム)

音(電子音/ボイス)と画面表示のダブルで警報します。

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびエクストラの高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

接近テンポアップ

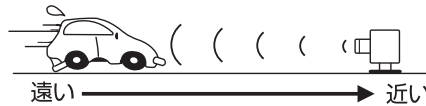
取締りレーダー波発信源への接近に伴う電波強度の変化に合わせて電子音のテンポが上がっていきます。

オートクワイアット

レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に警報音の音量が小さくなります。

ミュート機能

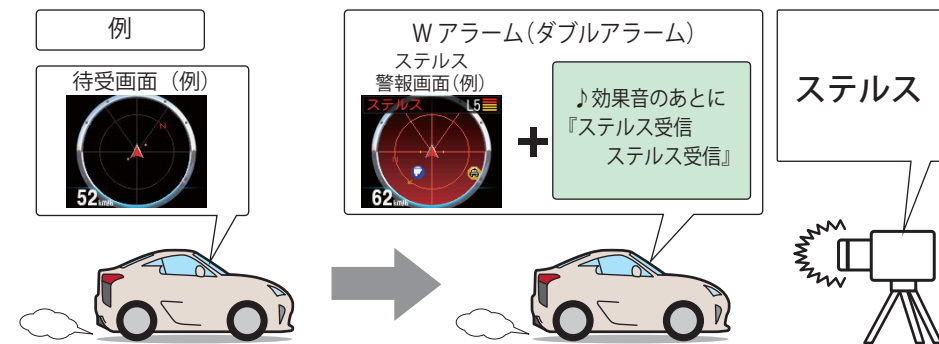
警報中に[MUTE]ボタンをタッチすると、受信中の電波が受信できなくなるまで警報音を一時的に消すことができます。

取締りレーダー波 発信源との距離	
電子音	『ピロ・ピロ』 → 『ピーーーー』 断続音から連続音に変化します。
受信レベル表示	L1 → L5 レーダー波の受信レベルが変化します。

レーダー警報音が「ボイス」のとき、設定メニューの「音声」→「話す速さ」で「警報連動」に設定すると、レーダー波の受信レベルと车速によって、警報音声の話す速さが変わります。

ステルス波を受信すると

画面上部に警報の情報が表示され、同時に専用の警報ボイスで警告します。



『ステルス受信 ステルス受信』と警報したあと、通常の警報音(ボイス、電子音)の警報になります。

レーダー波3識別(iDSP)について

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、アイキャンセル(50ページ)により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

[ステルス識別]
[アイキャンセル：特許第3902553号、第4163158号]

・iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。



・レーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
・新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

GPSターゲットに接近すると・・・

GPSターゲット警告

本機に登録されたGPSターゲットに近づくと、画面にGPSターゲット情報が表示され、先にあるGPSターゲットを前もって知ることができます。待受画面の「レーダースコープ」とときは、自転車位置とターゲットの位置を画面上で確認できます。

テロップ表示に設定した場合

(例) 時計
左画面表示時



GPSターゲット情報(テロップ)
ターゲットの種類と距離を表示します。

現在時刻

アイコン表示

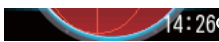
(例) レーダースコープ
左画面表示時



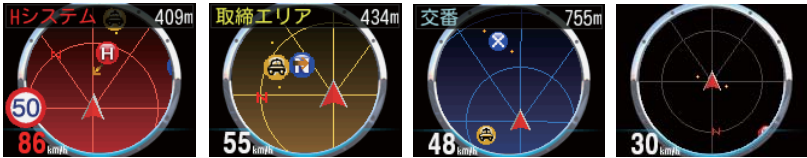
GPSターゲット情報(テロップ)
ターゲットの種類と距離を表示します。

GPSターゲットアイコン・自転車アイコン
現在の車両位置とGPSターゲットを表示します。

(例) レーダースコープ
右画面表示時



現在時刻



高(赤) ← 中(黄) → 低(青) 通常時(黒)
注意度
警告の注意度に応じて、画面の背景色が変化します。

お知らせパネルに設定した場合(例) 駐禁エリア437m



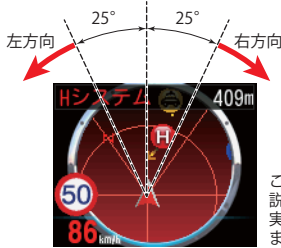
- 制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス)と一部の取締エリア警報時に表示します。
- 表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、誤差を生じることがあります。
- 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自転車アイコンは、GPSやVPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。OBD IIアダプターで接続すると、走行速度は車両のOBDデータにより表示します。

警報ボイスについて

つづく

設定メニューの「音声」→「話す速さ」を「警報連動」に設定すると、ターゲットとの距離と車速によって、警報音声の話す速さが変わります。

左右方向識別ボイス



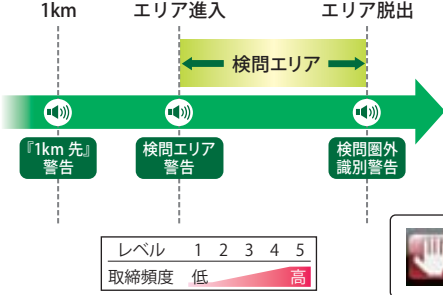
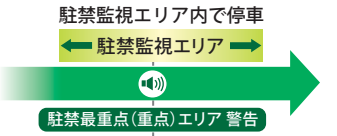
この画面のイラストは説明用です。実際の画面とは異なります。

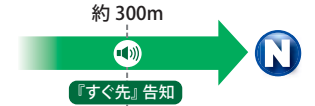
GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。

- ・『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- ・ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスをお知らせしないこともあります。

ターゲットの種類		お知らせするタイミング(距離) ※GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。					
オービス 5段階警報		2km(高速道のみ)	1km	500m	直前	通過	※1km 手前では制限速度もお知らせします。 普通自動車の制限速度をお知らせします。事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応していません。 ※500m 手前ではカメラ位置もお知らせします。 ※直前では走行速度告知も行います。 ※オービス接近音の設定をONにすると、オービスに近づくにつれて警報音がテンポアップします。
 (ループコイル)							
 (新Hシステム)		『2km 先』 警報	『1km 先』 警報	『500m 先』 警報		通過告知	
 (LHシステム)			制限速度告知 速度超過告知	カメラ位置告知	直前走行速度告知 速度超過告知	制限速度切替告知	
 (レーダー式)							
※トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスは直前走行速度告知を行いません。 ※トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない場合は制限速度告知を行いません。 ※トンネル出口ターゲットはカメラ位置告知を行いません。							
取締エリア		1km	エリア進入	エリア脱出			
 (移動オービス)							
 (ネズミ捕り)		『1km 先』 警告	取締エリア 警告	取締圏外 識別警告			
 (追尾式取締り)							
 (交差点取締り)							
 (その他取締り)							
		レベル 1 2 3 4 5 取締頻度 低 高					
		 (取締エリア内で点灯) (レーダースコープ内には表示されません)					

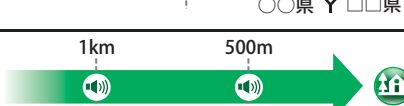
基本的な使い方

ターゲットの種類	 お知らせするタイミング(距離) ※GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。	
検問エリア		
 (シートベルト検問)	※1km 手前では左右方向もお知らせします。 ※本機に登録されている検問エリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。	
 (携帯電話検問)		
 (飲酒検問)		
 (その他の検問)		
 (交差点監視ポイント)		
 (信号無視抑止システム)		
 (高速交通警察隊)		
(駐禁監視エリア)		
 (マイエリア)		

ターゲットの種類	 お知らせするタイミング(距離) ※GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。	
 (N システム)		
 (交通監視システム)		
 (警察署)		
 (交番)		
 (事故多発エリア)		
(車上狙い多発エリア)		
(急(連続)カーブ) (高速道路のみ)		
(分岐(合流)ポイント) (高速道路のみ)		

基本的な使い方

基本的な使い方

ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離) ※GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。	
(ETC レーン)	ETC レーンにさしかかったら 	※ETC レーンの位置によって「右側/左側/中央/両サイド」でお知らせします。 ※交通量や時間によるETC レーンの位置変更には対応しておりません。目安としてお考えください。
SA (サービスエリア) PA (パーキングエリア) HA (ハイウェイオアシス)	1km 『1km 先』お知らせ 『スマートインターチェンジ』お知らせ 『ガステーション』お知らせ 	※サービスエリア、パーキングエリアおよびハイウェイオアシスのお知らせを OFF に設定すると、スマートインターチェンジ、ガステーションのお知らせも行いません。
(長い(連続)トンネル) (高速道路のみ)	1km 500m 『1km 先』お知らせ 『500m 先』お知らせ 	
(ハイウェイラジオ) (高速道路のみ)	受信エリアお知らせ 	※ハイウェイラジオ受信エリアに接近するとお知らせします。
(県境) (高速道路および主要一般道路のみ)	県境お知らせ 	※県境に接近するとお知らせします。 ※すべての道路の県境が登録されているわけではありませんので、あらかじめご了承ください。
(道の駅)	1km 500m 『1km 先』お知らせ 『500m 先』お知らせ 	
(ビューポイントパーキング)	1km 500m 『1km 先』お知らせ 『500m 先』お知らせ 	

$$\boxed{\text{GPS}} + \boxed{\frac{\text{Xバンド}}{\text{Kバンド}}} + \boxed{\text{無線2バンド}} = \boxed{5 \text{ BAND}}$$

本機は、取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線2バンド受信をプラスし、5バンド受信ができます。

無線発信源の位置を表示することはできません

無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締りに関係する無線が発信されていることを警報します。

1. 無線2バンド受信機能

無線の種類	無線の説明
カーロケ無線 (カーロケーターシステム) 『カーロケ無線を近接受信しました』 『カーロケ無線を遠方受信しました』 『カーロケ無線圏外になりました』※ ※カーロケ無線の発信元が遠ざかった可能性が高いとき	「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPS による緯度・経度情報をデジタル化し、それを 407.7MHz 帯の周波数でデータ伝送しています。 本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。 ※カーロケーターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。 ※カーロケーターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移した地域では、カーロケ無線の警報ができません。 ※受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。
取締無線 『取締無線を受信しました』	スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締現場では、350.1MHz の電波で無線連絡が行われることがあります。これが取締り無線です。本機は、それを受信することにより、近くで取締りが行われていることを警報します。 ※無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。

2. ベストパートナー 2 識別

カーロケ無線(407.7MHz帯の電波)を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

- ・カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。

[圏外通知] [特許 第3780262 号]

- モード(48ページ)を「ノーマル」「スペシャル」「オールオン」のいずれかにします。

- ・モードが「ミニマム」の状態では、ベストパートナー機能がはたしません。
- ・新システムへの移行により、カーロケ無線が受信しない地域では、ベストパートナー2 識別は、はたしません。

無線の種類	無線の説明
カーロケ遠近識別 『カーロケ無線を近接受信しました』 『カーロケ無線を遠方受信しました』	緊急車両などが近接している時や、遠方にいる可能性が高いとき
カーロケ圏外識別 『カーロケ無線圏外になりました』	カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いとき

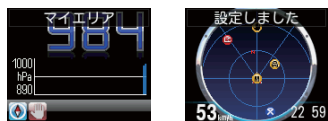
マイエリアを登録する

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。[マイエリア]

- 登録数は、マイエリア、アイキャンセル(●50ページ)、マイキャンセルエリア(●45ページ)の合計で1,000カ所まで可能です。1,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

マイエリアを登録する

- ①登録したい地点で[MEN0]ボタンを数回タッチし「マイエリア・長押しで設定」が表示されたら[MEN0]ボタンを長押しします。



『マイエリアをセットしました』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイエリア登録できなかったとき…〉

『GPSをサーチしています』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できませんでした』とお知らせします。

マイエリア登録したエリアに近づくと…

手前約1km/500mと通過時の3段階で警告します。

〈手前約1km(500m)のとき…〉

『右(左)方向 1km(500m)先 マイエリアです』とお知らせします。

- GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知(『1km先』、『500m先』)を『この先』や『300m先/200m先/100m先/すぐ先』とお知らせすることがあります。

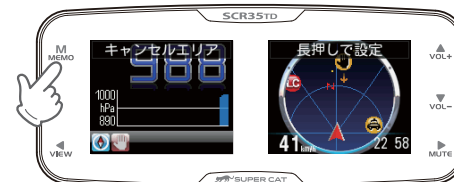
マイキャンセルエリアを登録する

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。[マイキャンセルエリア]

- 登録数は、マイキャンセルエリア、マイエリア(●44ページ)、アイキャンセル(●50ページ)の合計で1,000カ所まで可能です。1,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。
- マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、GPS47識別(●39ページ)や無線2バンド識別(●43ページ)・ベストパートナー2識別(●43ページ)の警報はキャンセルできません。

マイキャンセルエリアを登録する

- ①登録したい地点で[MEN0]ボタンを数回タッチし「キャンセルエリア・長押しで設定」が表示されたら[MEN0]ボタンを長押しします。



『マイキャンセルエリアにセットしました』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイキャンセルエリア登録できなかったとき…〉

『GPSをサーチしています』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できませんでした』とお知らせします。

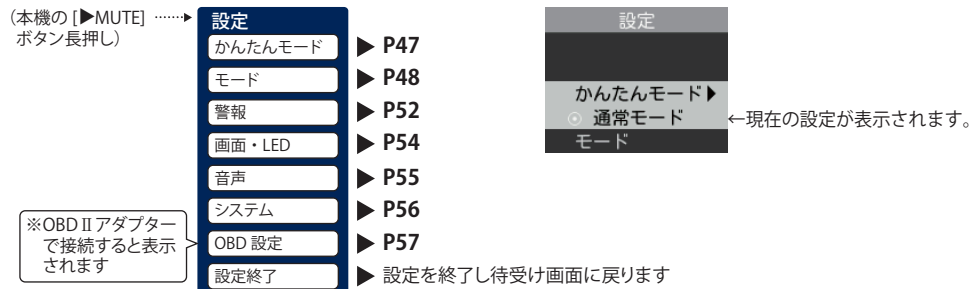
登録したマイキャンセルエリアに進入すると…

登録したキャンセルエリアのポイントから半径約200mのエリアに進入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

設定

設定

電源がONの状態、[▶MUTE]を長押しすると設定メニューが表示されます。変更したい項目まで[▲][▼]ボタン操作で移動し、[▶MUTE]ボタンを押すと設定が変更できます。



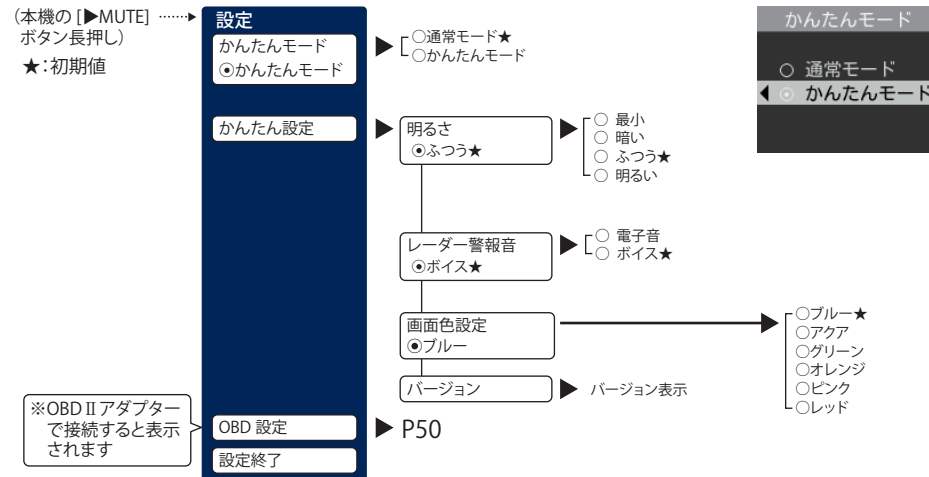
かんたんモード

かんたんモード

かんたんモードをONにすると、本機の設定がかんたん設定のみとシンプルになり、簡単に設定が終了します。詳細に設定したい場合は通常モードでお使いください。

※通常モードから、かんたんモードに変更すると、通常モード時の設定はリセットされます。

「お手軽 設定ON」のときの設定メニュー



〈かんたんモード〉

通常モードとかんたんモードを切り替えます。

〈明るさ〉

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「ふつう」「明るい」の4段階で切り替えることができます。

〈レーダー警告音〉

レーダー波受信時の警告を、電子音かボイスで選択できます。

〈画面色設定〉

画面表示の文字色を「ブルー」「アクア」「グリーン」「オレンジ」「ピンク」「レッド」の6色で切り替えることができます。

※すべての文字色が切り替わるわけではありません。

〈バージョン〉

本体バージョン(ソフトウェアのバージョン)とコンテンツバージョン(登録されているGPSデータ情報)が表示されます。

〈設定終了〉

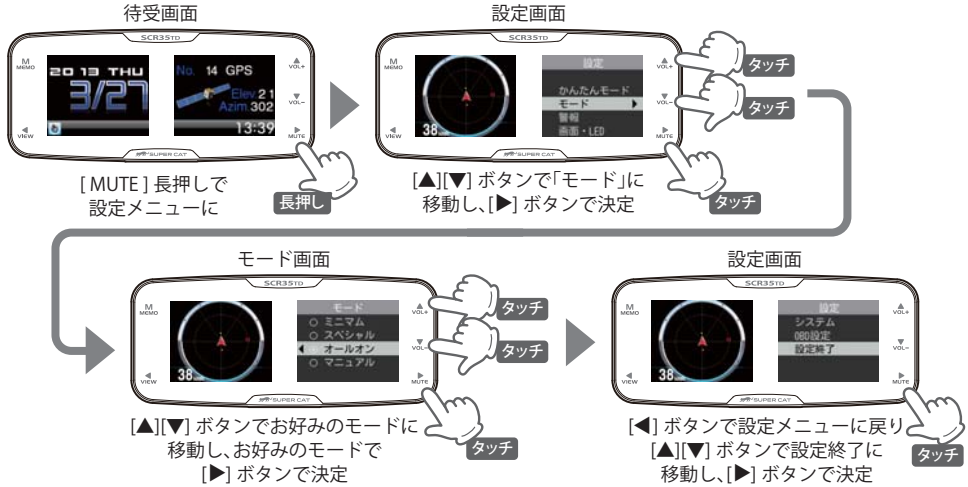
設定メニューを終了し、待受画面に戻ります。

モード

本機には、プリセットが以下の4種類とマニュアルモードが用意されています。お好みに応じて変更してください。初期設定は「ノーマルモード」に設定されています。

ノーマルモード	バランスを重視した内容に設定されています。
ミニмумモード	最低限の項目だけを ON に設定します。
スペシャルモード	取締りに関する項目を重視した内容に設定されています。
オールオンモード	すべての機能を ON に設定します。
マニュアルモード	それぞれの機能を個別に設定できます。

モードの変更方法



モード設定内容

●レーダーの設定

	画面表示	ノーマル モード	ミニмум モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を 変更できます。	
1キャンセル	キャンセル L2	ON	ON	OFF	ON	ON	50
反対キャンセル	反対キャンセル L1	ON	ON	OFF	ON	ON	50

●無線の設定

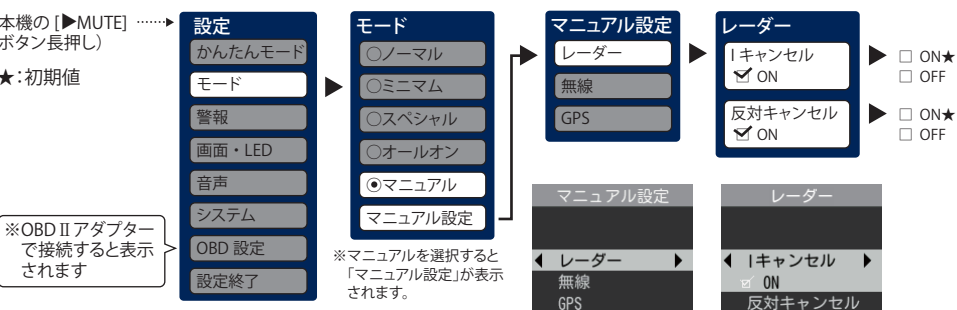
カーロケ	カーロケ近接	ON	ON	ON	ON	ON	43
取締無線	取締無感	ON	ON	ON	ON	ON	43

●GPSの設定

	アイコン	ノーマル モード	ミニмум モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を 変更できます。	
オービス	LC LH H RD	ON	ON	ON	ON	ON	39
通過告知	LC LH H RD	ON	ON	ON	ON	ON	39
制限速度告知	LC LH H RD	ON	ON	ON	ON	ON	39
制限速度切替		ON	ON	ON	ON	ON	39
速度超過告知		ON	ON	ON	ON	ON	39
取締エリア	STOP 車検 車検 車検 車検	レベル3以上	OFF	ON	ON	レベル3以上	39
検問エリア	車検 車検 車検 車検	レベル3以上	OFF	ON	ON	レベル3以上	40
交差点監視	+	OFF	OFF	ON	ON	OFF	40
信号無視抑止	+	OFF	OFF	ON	ON	ON	40
高速交通警察隊	*	ON	OFF	ON	ON	ON	40
駐禁監視エリア		ON	OFF	ON	ON	OFF	40
Nシステム	N	OFF	OFF	ON	ON	ON	41
交通監視	T	OFF	OFF	ON	ON	OFF	41
警察署	*	OFF	OFF	ON	ON	OFF	41
交番	X	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	41
事故多発(エリア)	!	OFF	OFF	ON	ON	OFF	41
車上狙い多発(エリア)		OFF	OFF	ON	ON	OFF	41
急カーブ		OFF	OFF	ON	ON	OFF	41
分岐合流		OFF	OFF	ON	ON	OFF	41
ETCレーン		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	42
SA(サービスエリア)	SA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	42
PA(パーキングエリア)	PA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	42
HIGHWAYオアシス	+	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	42
スマートIC	SA PA +	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	42
GS(ガソリンスタンド)	SA PA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	42
トンネル	T	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	42
HIGHWAYラジオ	+	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	42
県境		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	42
道の駅	+	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	42
VIEW POINT	+	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	42

マニュアルモードでのレーダー設定

設定メニューにそって、レーダーの各種設定変更ができます。
・「モード」でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



〈アイキャンセル〉[特許 第3902553号、第4163158号]

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。登録数は1,000カ所まで可能です。
1,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

アイキャンセルのしくみ

① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
② 取締りレーダー波かどうかを識別。
③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]

Before
また、自動ドアが...

After
オッ、晴らなくなった...
賢〜い! [...]

キャンセル中の画面

レーダー波の受信レベル

- ・ GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- ・ 自動登録したエリアは、電源をOFFにしても記憶されています。
- ・ 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「設定初期化」(●46ページ)を行ってください。

〈反対キャンセル〉(反対車線オービスキャンセル機能)

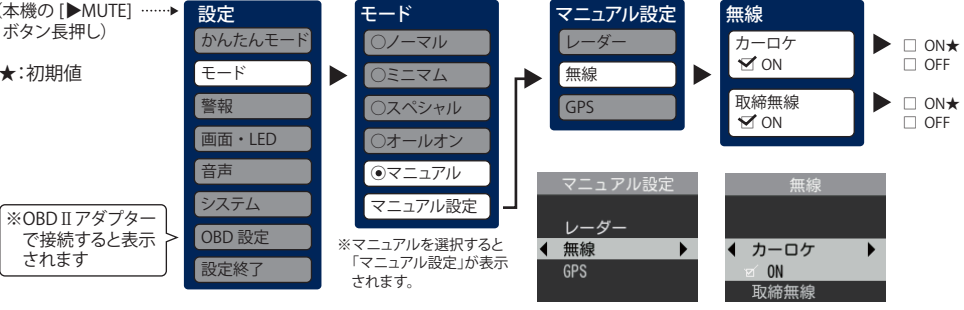
GPSデータに登録されている新Hシステムとレーダー式オービスポイントの反対車線で、レーダー波の受信警報をキャンセルする機能です。

反対車線オービスキャンセル中の画面



マニュアルモードでの無線設定

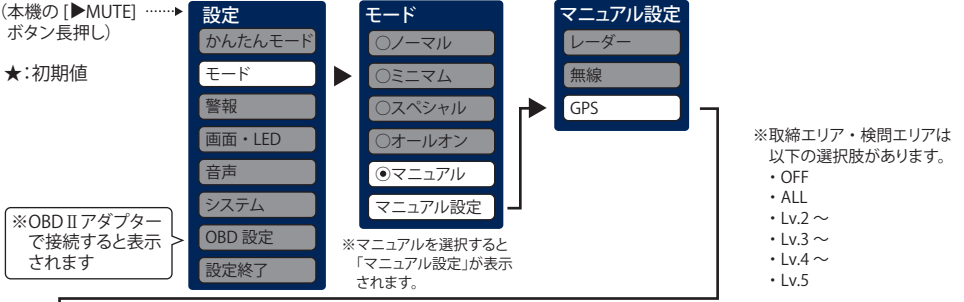
設定メニューにそって、無線の各種設定変更ができます。
・「モード」でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



設定項目の詳細説明は「無線2バンド受信機能」(●45ページ)をご覧ください。

マニュアルモードでのGPS設定

設定メニューにそって、GPSの各種設定変更ができます。
・「お好みモード選択機能の設定」でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



- ※取締エリア・検問エリアは以下の選択肢があります。
- ・ OFF
 - ・ ALL
 - ・ Lv.2 ~
 - ・ Lv.3 ~
 - ・ Lv.4 ~
 - ・ Lv.5

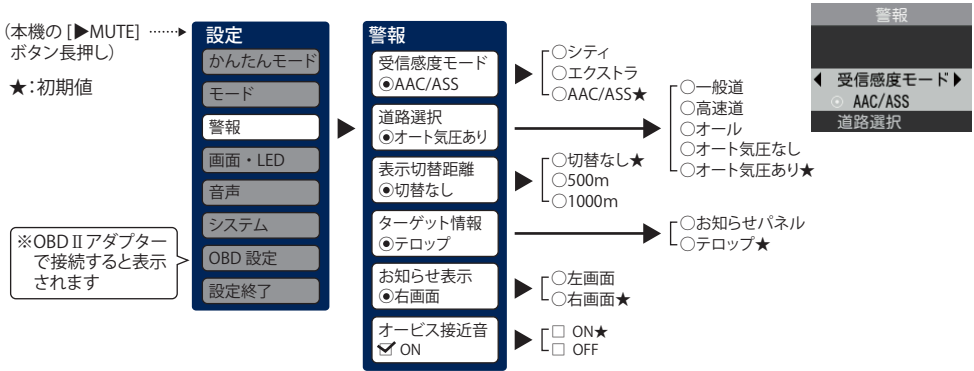
GPS			
オービス ON★/OFF	信号無視抑止 ON★/OFF	車上狙い多発(エリア) ON/OFF★	GS ON/OFF★
通過告知 ON★/OFF	高速交通警察隊 ON★/OFF	急カーブ ON/OFF★	トンネル ON/OFF★
制限速度告知 ON★/OFF	駐禁監視エリア ON/OFF★	分岐合流 ON/OFF★	HIGHWAYラジオ ON/OFF★
制限速度切替 ON★/OFF	Nシステム ON★/OFF	ETCレーン ON/OFF★	県境 ON/OFF★
速度超過告知 ON★/OFF	交通監視 ON/OFF★	SA ON/OFF★	道の駅 ON/OFF★
取締エリア ※Lv.3~★	警察署 ON/OFF★	PA ON/OFF★	VIEW POINT ON/OFF★
検問エリア ※Lv.3~★	交番 ON/OFF★	HIGHWAYオアシス ON/OFF★	
交差点監視 ON/OFF★	事故多発(エリア) ON/OFF★	スマートIC ON/OFF★	

設定項目の詳細説明は「警報ボイスについて」(●41ページ)をご覧ください。

警報

設定メニューにそって、警報設定の各種設定変更ができます。

設定メニュー



受信感度モード

レーダー受信感度を選択できます。

- 受信感度が高いほど遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて受信感度をお選びください。

「シティ」・「エクストラ」

受信感度		走行環境や条件
高い ↑ 低い	エクストラ	郊外や高速道路
	シティ	市街地

「AAC/ASS」

GPS測位機能(本機が別売品のOBD II アダプター(▶11ページ)で接続されている場合は、OBD II 車速検知)によりAAC/不要警報カットやASS/最適感度選択がはたります。

● AAC/不要警報カット

走行速度が時速30km未満はレーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても誤警報することはありません。

● ASS/最適感度選択

走行速度に合わせて最適な受信感度を自動的に選択します。

[AAC/ASSの動作]

走行速度	受信感度	警報状態
0km～29km		警報しない
30km～39km	シティ	警報する
40km～	エクストラ	

道路選択

GPS警報する道路を「一般道」「高速道」「オール」「オート気圧なし」「オート気圧あり」から選択することができます。

- GPS47識別警報のハイウェイオアシスは「一般道」に設定された場合もGPS告知されます。
- 一般道と高速道が並行していたり交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道／高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。
- GPS測位が困難な状況では、正しく識別できない場合があります。
- 高速道を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されないことがあります。
- 渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート気圧なし	走行道路(一般道か高速道)をGPSの位置情報を優先し自動的に識別します。 一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。
オート気圧あり	走行道路(一般道か高速道)を気圧の変化を優先し自動的に識別します。 一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。

表示切替距離

GPSターゲットに接近したときに、待受画面から警告画面に切り替わるタイミングを変更できます。

- 切替なし ……………待受け画面を表示したまま、警告画面に切り替わりません。
- 500m、1000m ……………ターゲットまでそれぞれの距離になったときに、待受け画面から警告画面に切り替わります。

ターゲット情報

警告画面のターゲット情報を、一方の画面全体で表示する「お知らせパネル」で表示するか、待受け画面上部に表示される「テロップ」で表示するかを選択できます。

お知らせ表示

警告画面のターゲット情報(「お知らせパネル」、または「テロップ」)を、左右どちらの画面に表示するか選択できます。

オービス接近音

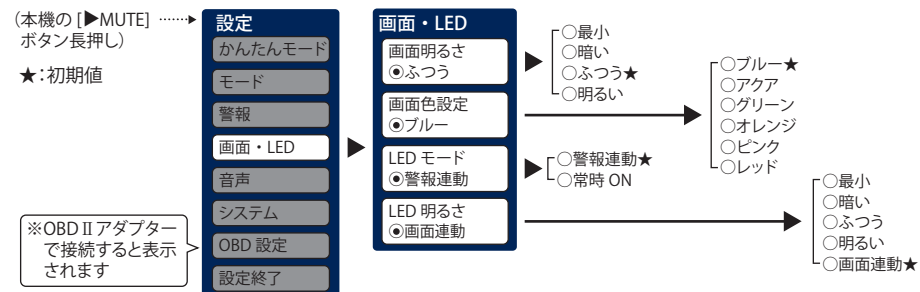
オービス接近時に、効果音を鳴らして距離が近づいていることを警告します。

画面・LED設定

画面・LED

設定メニューにそって、画面・LEDの各種設定変更ができます。

設定メニュー



〈画面明るさ〉

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「ふつう」「明るい」の4段階で切り替えることができます。

〈画面色設定〉

画面表示の文字色を「ブルー」「アクア」「グリーン」「オレンジ」「ピンク」「レッド」の6色で切り替えることができます。

※すべての文字色が切り替わるわけではありません。

〈LEDモード〉

本機ボタン部のLEDの点灯パターンを切り替えることができます。

- ・ 警報連動警報時に点滅します。
- ・ 常時ON本機が起動している間、常時点灯します。

〈LED明るさ〉

点灯時のLEDの明るさを「最小」「暗い」「ふつう」「明るい」「画面連動」で切り替えることができます。

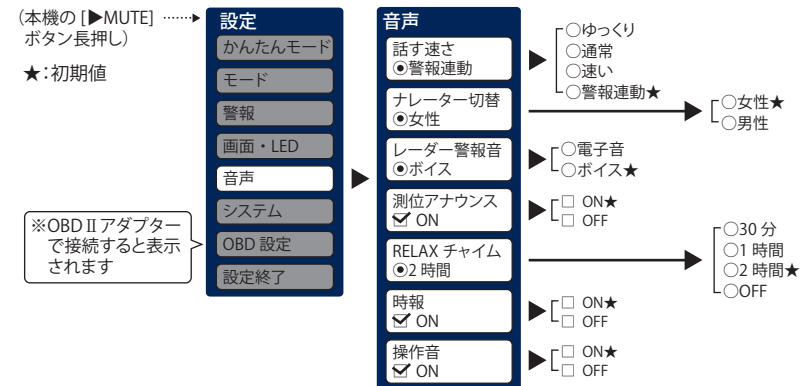
※「画面連動」では画面明るさの設定に従います。

音声設定

音声

設定メニューにそって、音声の各種設定変更ができます。

設定メニュー



〈話す速さ〉

警告音声の速さを「ゆっくり」「通常」「速い」「警報連動」の4段階で切り替えることができます。

※「警報連動」では警報の種類によって話す速さが変わります。

〈ナレーター切替〉

警告音声を「女性」「男性」で切り替えることができます。

〈レーダー警報音〉

レーダー受信時の警報を「ボイス」「電子音」で切り替えることができます。

〈測位アナウンス〉

「測位アナウンス」のON/OFF が選択できます。ビルの谷間などGPSの受信状態が良くない場合、『GPSを受信できませんでした』『GPSを受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。電源をONにしてから、しばらくGPSを受信できない場合『GPSをサーチしています』とお知らせします。

〈RELAXチャイム〉

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。電源ON後、設定時間が経過するたびに『長時間運転しています 休憩しませんか?』とお知らせします。

〈時報〉

「ON」に設定すると、毎時、正時に時刻をお知らせします。「午前(午後)〇〇時になりました」

〈操作音〉

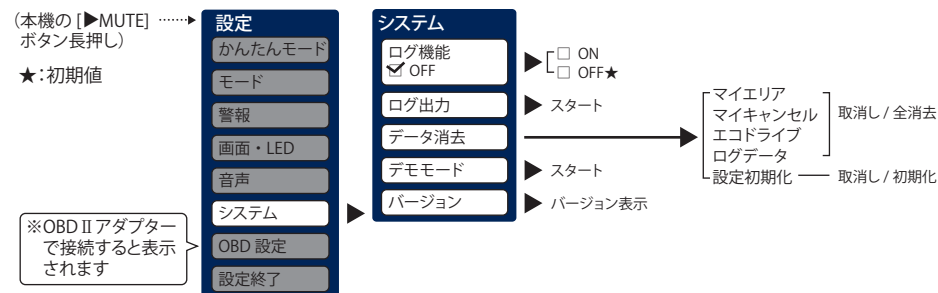
「ON」に設定すると、ボタン操作時の確認音が出ます。

システム設定

システム

設定メニューにそって、システムの各種設定変更ができます。

設定メニュー



〈ログ機能〉

「ON」に設定すると、最大約34時間分の走行データを記録することができます。(●58ページ)

※測位状況および走行の状況により異なります。

〈ログ出力〉

ログ機能で記録した走行データを microSD カード(市販品)にコピーします。

- ・ スタートを選択するとコピーを開始します。

〈データ消去〉

「マイエリア」「キャンセルエリア(アイキャンセル・マイキャンセルエリア)」「エコドライブ」「ログデータ」のデータを消去・クリアすることができます。また、「設定初期化」すると、すべての設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。

- ・ 消去したい項目(マイエリア、マイキャンセル、エコドライブ、ログデータ)を選び、「全消去」を選択するとデータが消去・クリアされます。
- ・ いったん消去・初期化すると、元に戻せませんのでご注意ください。
- ・ 本機に登録されているオービス等の GPS データが消去されることはありません。

〈デモモード〉

レーダー受信や GPS 警報などの音声や画面表示を実演できます。

- ・ スタートを選択するとデモモードが始まります。
- ・ デモモード中に本機を操作するとデモモードは終了します。
- ・ 本機が OBD II アダプター(●11ページ)で接続されていない場合でも、OBD II 関連の待受画面が表示されます。

〈バージョン〉

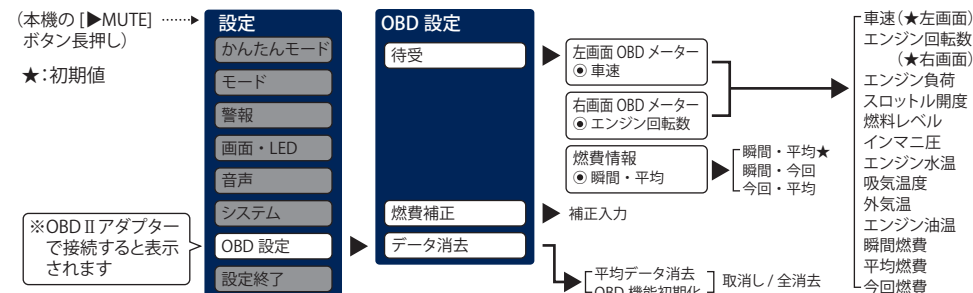
本体バージョン(ソフトウェアのバージョン)とコンテンツバージョン(登録されている GPS データ情報)が表示されます。

OBD 設定

OBD 設定

設定メニューにそって、OBD の各種設定変更ができます。

設定メニュー



〈左画面 OBD メーター〉〈右画面 OBD メーター〉

待受け画面の OBD メーターに表示する項目を選択します。

左右それぞれに OBD メーターの項目を選択できます。

〈燃費情報〉

待受け画面の燃費情報に表示する項目を選択します。

〈燃費補正〉

給油量と走行距離を入力して燃費を補正します。

燃料を入れたときに、車両のトリップメーターをゼロにして、次の給油のときに「給油量(前回の給油から使用した燃料の量)」と「走行距離(前回の給油から走行した距離)」を入力すると、より精度の高い燃費になります。この走行距離は、長ければ長いほど精度が高くなります。

※走行しながらの操作はしないでください。安全な場所で行ってください。

※燃費補正は一度行えば何度も行い必要はありません。

〈データ消去〉

平均データ消去は、画面内の「平均燃費」の項目をリセットします。

※平均データ消去を行っても、本機に登録した燃費補正値は消去されません。

OBD 機能初期化は、本機内のすべての OBD データをリセットします。車両の入れ替えなどで、車両条件が変わった場合などに行ってください。

※ OBD 機能初期化を行うと、本機に登録した燃費補正値も消去されます。車両入れ替え時などは、新たに燃費補正を行ってお使いください。

燃費補正	
給油量	21.4 L
走行距離	432 km
セット	

ログ機能 [特許出願中]

ログ機能をONに設定すると、走行データ(最大約34時間分)をレーダー探知機に記録します。記録したデータは、microSDカード(市販品)にコピーし、パソコンで走行軌跡を確認することができます。

パソコンで走行軌跡を確認するには以下の環境や条件が必要になります。

※下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販のデータロガーでの動作確認は行っておりません。

※走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。

※測位状況および走行の状況によりログ記録時間は異なります。

● 下記の条件を満たしたインターネットに接続可能なパソコン。

- OS
 - Microsoft Windows 7 (32bit版/64bit版)、Vista (32bit版/64bit版)、XP (32bit版) ※64bit版は未対応、2000。
- .NET Framework2.0以上がインストールされていること。 .NET Framework2.0以上がインストールされていない場合は、Microsoft社のホームページよりダウンロードしてください。

● ご用意いただくもの。

- microSDカードリーダー (2GB対応のもの)
- SDカードリーダーやパソコンのSDカードスロットを使用する場合は、SDカード変換アダプターが必要となります。
- Google より Google Earth をダウンロードしてください。
- 弊社ホームページ (<http://www.yupiteru.co.jp>) をご参照の上、オリジナルログデータ変換ソフト (YP_LogData-Convert.exe) をダウンロードしてください。

1. ログ機能をONにする

ログ機能をONに設定 (●56ページ) すると走行データが記録されます。

- 非測位時、時速10km未満の場合は記録されません。
- 走行データは、画面下にパーセント表示されます。(レーダースコープ画面では表示されません。)
- 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100%の表示を残します。
- 記録容量が100%になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。
- ログ機能ON中は常に走行データを記録します。日時別の保存や管理は行っておりません。
- 記録容量が100%になり、ログ機能がOFFになっても、データ消去 (●56ページ) を行うまで、100%の表示は残り、ログは記憶されています。
- 走行記録を消去する場合は、データ消去 (●56ページ) を行ってください。また必要に応じ、事前に下記の手順でmicroSDカードにコピーを行ってください。

2. 走行データをmicroSDカードにコピーする

本機で操作を行ってください。

- [MUTE] を長押しして、「設定モード」にする。
- 「システム」を選び、[▶] をタッチします。
- 「ログ出力」を選び、[▶] をタッチします。
- [▶] をタッチするとコピーが始まります。
 - microSDカードへコピーを行ったあとも、走行データを記憶しています。走行データを消去する場合は、「データ消去」を行ってください。(●56ページ)

3. パソコンで走行軌跡を確認する

- 走行データをコピーしたmicroSDカードをパソコンに接続する。
- YP_LogDataConvert.exe(ユピテル ログデータコンバート) を起動する。
パソコン画面上の「開く」ボタンをクリックし、microSDカードの走行データ (* .Log) を選択する。
- 「変換」ボタンをクリックし、お好みのファイル名と保存先を指定し、保存する。
- 保存したファイルを開くと、Google Earth の画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。

今すぐ地図表示サービス(無料)

レーダー探知機に表示させたQRコードをバーコードリーダー機能付携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図を表示します。

- 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- バーコードリーダー機能付携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。
- 一部の携帯電話では、QRコードの読み取りや地図データを表示できない場合があります。

●今すぐ地図表示サービスの流れ

必ず、車を止めてから操作してください。

- [MEMO] ボタンを数回タッチして「ity.MAP・長押しで表示」と表示されたら、[MEMO] ボタンを長押しすると、右画面にQRコードが表示されます。



- バーコードリーダー機能付携帯電話でQRコードを読み取り送信する。



携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。



(表示例)

- 表示部にQRコードを約1分間表示します。
- 表示中は、移動してもQRコードは変わりません。
- GPS非測位のときは、QRコードは表示できません。
- 戻るときは、画面をタッチしてください。
- 表示させたまま1分間経過すると、自動的に直前の画面に戻ります。

オービス・取締り系&コンテンツデータ更新

パソコンでのダウンロード、microSDカードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機の オービス・取締り系&コンテンツデータの更新を行っていただけます。

各種更新サービスについての詳細は下記ホームページを参照ください。

<https://ity.yupiteru.co.jp/>

パソコンでのダウンロード、microSDカードをお送りするお届けプランをご利用の際には、下記ホームページよりご利用の機種を選択のうえ、お申込み手続きを行ってください。

ity.クラブ/ POWERED BY ユピテル

<https://ity.yupiteru.co.jp/>

電話でのお問い合わせは下記フリーコールをお願いします。

◆ユピテル ity.クラブ 窓口

受付時間 9:00 ~ 17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

☎ 0120-998-036

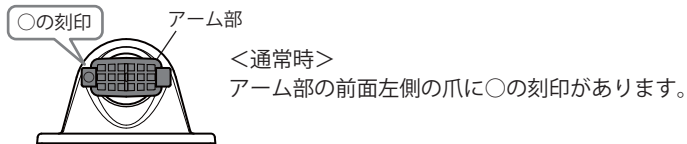
本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。

ダッシュボード取り付け用ブラケットについて

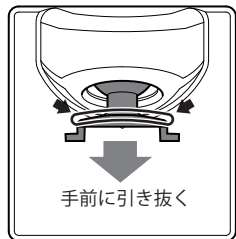
ダッシュボード取り付け用ブラケットの、アーム部の取り付け・取り外しの方法です。

警告

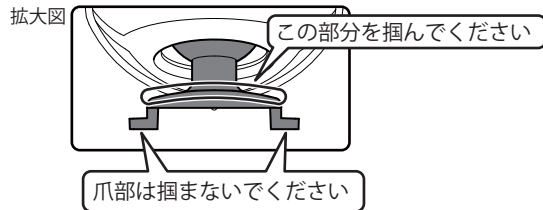
❗ 取り付け時のブレ防止のため、取り付けは固くなっています。ケガやブラケットの破損に、十分気をつけて行ってください。アーム部を取り外した際には、紛失に注意してください。



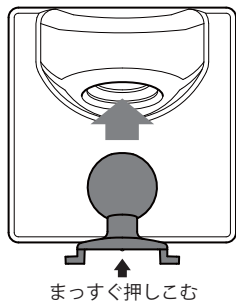
アーム部取り外し



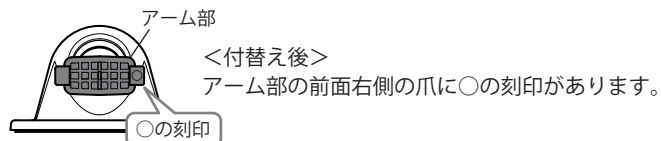
アーム部のツバの部分を布などで保護し、手前に引き抜きます。ラジオペンチなどを使用すると、簡単に抜けます。爪部を掴むと爪が折れる場合があります。
※必ず布などのやわらかいもので保護してください。破損の原因となります。



アーム部取り付け



アーム部を 180° 反転し、アーム部の中央をブラケットの穴に向かって、真っすぐに押し込んでください。



故障かな？と思ったら

つづく

故障かな？

電源が ON にならない

- 電源スイッチが ON になっています。 10
- シガープラグコードが外れていませんか。 —
- シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良をおこしていませんか。
2～3 回左右にひねりながらシガーライターソケットに差し込み直してください。 —
- シガープラグコード内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量の新しいヒューズと交換してください。 18
- 初めて OBD II アダプター (OBD12-M) を車両に取り付ける場合は、本機の起動に数分かかることがあります。 —

電源が OFF にならない

- シガーライターソケットの電源が、イグニッションの ON/OFF と連動して ON/OFF しない車があります。このような車では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、本機の電源スイッチで電源を OFF にしてください。 10
- シガーライターソケットの電源が、イグニッションの ON/OFF と連動して ON/OFF される車でも、OBD II アダプター取り付け時はイグニッションの OFF から本機の電源が OFF になるまでに数秒から数十秒かかります。OBD II アダプターで接続した場合は、本機の電源スイッチで電源を OFF にしないでください。 25

OBD II 接続中に突然電源が OFF になった

- OBD II アダプターのコネクターが外れていないか確認してください。
車両の振動等によってコネクターが緩むことがあります。 20

何も表示しない

- 「マナーモード」になっていませんか。
[▲VOL+] ボタンを押して解除してください。 26
- 待受画面の設定が「OFF」ではありませんか。各画面の左右を押して待受画面を変更してください。 30

音が出ない

- 音量「0」になっていませんか。音量を調節してください。 26

警報がおかしい？

レーダー警報しない	
●電源が入っていましたか。	➡24
●取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型や、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。	➡22
●マイキャンセル登録したエリアではありませんでしたか。	➡45
●アイキャンセルされていませんか。	➡50
●受信感度モードが「AAC/ASS」の場合、時速 30 km 未満のときは警報しません。	➡52
●「マナーモード」になっていませんか。 [▲VOL+] ボタンを押して解除してください。	➡26
GPS 警報しない	
●GPS 測位していましたか。	➡25
●新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。	—
取締りもしていないのに警報機能がはたらく	
●取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。	—
取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器 電波式の自動ドア、防犯センサー / 信号機の近くに設置されている車両通過計測器 / NTT のマイクロウェーブ通信回路の一部 / 気象用レーダー、航空レーダーの一部 / 他のレーダー探知機の一部 まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。	
警報の途中で警報音が小さくなる	
●レーダー波の受信が約 30 秒以上続くと、警報音が小さくなります。(オートクワイアット)	➡36
一般道を走行中に高速道のターゲットを GPS 警報する	
●「道路選択」の設定を「オール」でご使用の場合は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。	➡53
●一般道と高速道が並行していたり、交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道 / 高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。	—
●ハイウェイオアシスは、「一般道」に設定された場合も GPS 告知されます。	—
ひんばんに無線警報する	
●放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。	—
取締り現場なのに 350.1MHz を受信しない	
●「取締り無線」を「ON」に設定していましたか。	➡51
●取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には 350.1MHz の電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。	➡43

警報がおかしい？（つづき）

誤警報がキャンセルされない	
●「アイキャンセル」の設定は「ON」になっていましたか。	➡50
●スペシャルモードになっていませんか。スペシャルモードは「アイキャンセル」の設定を「ON」にすることができません。	➡48
●GPS 測位していましたか。	➡7
●新 H システムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。	—
●取締りエリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。	—
その他	
画面に%（パーセント）表示がある	
●ログ機能を「ON」にすると、走行データの記録状態をパーセント表示(0%～100%)します。	➡58
速度表示が車両の速度計と異なる	
●車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。 ※OBDⅡ接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。 ※補正機能はありません。	—
OBDⅡ接続時に表示される待受画面の一部が表示されない	
●車種によって、待受画面の一部の項目が表示されない場合があります。 (車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)	—
OBDⅡ接続時にスロットル開度が、アイドリング中でも 0%にならない	
●車種によって、「スロットル開度」はエンジンがアイドリング状態でも表示が 0%にならないことがあります。	➡33
OBDⅡ接続時に待受画面の項目の内容が、車両のメーターと異なる	
●車種によって、表示する内容は純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。	—

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧	: DC 12V (マイナスアース車専用)	受信周波数	: [GPS部] 1.6GHz帯 [レーダー部] Xバンド/Kバンド [UHF部] 336～470MHz帯
消費電流	: 待機時: 130mA以下 最大: 250mA以下	動作温度範囲	: -20℃～+85℃ (無線部: -10℃～+60℃)
受信方式	: [GPS部] 22チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スィープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式	外形寸法	: [本機] 109(W)×47(H)×19(D)mm (突起部除く)
測位更新時間	: 最短 1秒	重量	: [本機] 約93g
表示部	: 液晶ディスプレイ 1.8インチ×2		

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
 なお、本文中ではTMや®などの記号を記載しない場合があります。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

MEMO

[illegible]

MEMO

[illegible]